

### 3年 文系 科目一覧

	科 目	ページ
1	現代文B	2 ・ 3
2	古典B	4 ・ 5
3	文系国語演習	6 ・ 7
4	文系国語演習+	8 ・ 9
5	詳説世界史	10 ・ 11
6	詳説日本史	12 ・ 13
7	詳説地理	14 ・ 15
8	倫理	16 ~ 18
9	政治・経済	19 ・ 20
10	文系数学 i a+	21 ・ 22
11	文系数学 i a++	23 ・ 24
12	文系数学 ii b+	25 ・ 26
13	文系数学 ii b++	27 ・ 28
14	演習物理基礎	29 ~ 38
15	演習化学基礎	39 ~ 44
16	演習生物基礎	45 ~ 49
17	演習地学基礎	50 ~ 55
18	体育	56 ~ 61
19	音楽通論	62 ~ 64
20	演奏法	65 ~ 67

	科 目	ページ
21	素描・構成	68 ~ 70
22	美術探究	71 ~ 73
23	コミュニケーション英語Ⅲ	74 ~ 77
24	英語表現CW(Change the World)	78 ~ 81
25	英語表現CW(Change the World)+	82 ~ 85
26	読解・表現(国語・英語)	86 ~ 91
27	KoA-S・Ⅲ <高入>	92 ・ 93
28	KoA-R・Ⅲ <内進>	94 ・ 95

~

# 令和3年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
現代文B	普通科・文系	3	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
精選現代文B（筑摩書房）		新総合図説国語（東京書籍） 頻出漢字マスター3000（尚文出版）	

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。			
評価の観点および評価規準				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
様々な文章に関心をもって積極的に読み、自己の知識や考えの発展に活かそうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話すことで自己を表現したり、的確に聞き取って考えを深めている。	相手や目的、意図に応じて、正しい表現を用い、自己の考えをまとめ、深めている。	文章の構成や展開、要旨などを的確に捉え、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方など中心的内容を正確に把握している。	文章の構成や語句などの知識を身につけるとともに、文章読解を通して様々な考え方を理解している。
評価方法	【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査の得点。 【表現力】文字作品（随筆・感想文等）の内容や完成度。			

「現代文B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 埼玉県立高志高等学校 普通科(文系) 3年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価規準(評価方法)			単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	備考 (他教科との関係、学校図書館の活用、ICTの活用等)	
			ア	イ	ウ	エ	オ		指導 時数	関心・意欲・ 態度 (評価方法)	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 (評価方法)			知識・理解 (評価方法)
4 5月	自己の考えを深める	声の諸相	○					6	・具体例に注目し、筆者の意見を読み取ることができる。 ・筆者の意見をもとに、自己の生活の中から具体例にふさわしい事例を考え、まとめることができる。 ・語句の正しい意味を理解する。	具体例と意見の関係に注目し、書き手の考えを読み取ろうとしている。(行動の観察)	具体例と意見の関係を考え、適切性を判断すると共に自らの生活を振り返り、適切な事例を挙げまとめようとしている。(記述の確認・定期考査)	語句の正しい意味を理解する。(定期考査)	書き手の意図を正しく捉え、それを踏まえての意見文を適切な具体例を用いて書く。	
	書き手の意図を捉える	「自然を守る」ということ	○					5	・登場人物の人物背景を意識しながら読む態度を身につける。 ・書き手の意図を作品中に理由を求めながら考えることができる。 ・確かな理由のもとに本文を理解できる。	人物背景を意識しながら理解しようとしている。(行動の観察・記述の確認)	書き手の意図を本文の記述や記述から考えられる内容をもとに理解しようとしている。(記述の確認・定期考査)	文中の記述をもとに考えるという読みがけができるようになる。(記述の確認・定期考査)	話し合いを通して、書き手の意図を捉える。	
中間考査①														
5 6月	表現から心情を捉える	舞姫				○		7	・小説の構成・登場人物像とその心理を読み取ることができる。 ・主題の把握を通して、人間はいかに生きるべきかについて考えを深める。 ・話し合いを通して、「生きる」ことに対する様々な考えを知る。	登場人物の行動と心情を丁寧に読み取り、自己に置き換えて考えようとしている。(記述の確認・発問の答え)	自己の意見を持ち、他者との話し合いを通して、考えを深めようとしている。(行動の観察・定期考査)	「生きる」ことに対する様々な考えを知る。(行動の観察)	話し合いを通して、自己の「生き方」について考え、まとめる。	
	構成・展開を捉える	虚ろなまなざし	○					5	・文の展開を意識して読み取る力を身につける。 ・文章の展開を的確に捉え、要約文を書き、互いに評価することができる。 ・文の展開と接続詞等の関係を意識することができる。	文章の展開を捉え、自分なりにまとめようとしている。(記述の確認)	文章の展開を的確に捉え、論理性を考えた上で要約文を書き、互いに評価しようとしている。(行動の観察・記述の確認・定期考査)	接続詞等の働きを正しく理解する。(行動の観察・定期考査)	語句や展開の仕方に注意し、要旨を捉えてまとめ、評価する。	
中間考査②														
7 9月	文章を批評する	無常ということ	○					8	・物事を多角的に捉え考える。 ・各自の意見をもとに議論し、思考を深める。 ・多くの視点をもとに論証されているという展開を知る。	文中の語句の働きに注意して、要旨を捉えようとしている。(行動の観察・記述の確認)	自己の意見を持ち、他者と議論しようとしている。(行動の観察)	多角的な視点をもとに展開される文章の構成について知る。(行動の観察・定期考査)	・筆者の意見に対する自己の意見を、肯定・否定の両面から考えた上で、最終的な自己の意見をまとめる。 ・自己の意見をもとに、他者と議論する。	
	主題を捉え、味わう	家				○		5	・登場人物の境遇、言動に注目し、その心情や考えを把握する。 ・事物が、人間にどのような影響を与え意味を持つか考える。	物語の展開をとらえ、主人公の「家」への思いを考えようとしている。(行動の観察・記述の確認)	物語から読み取った内容を効果的に表現しようとしている。(記述の確認)	自分の身の回りで自分に強く影響を与えているものに気づく。(記述の確認)	物語を踏まえて、身近な事例を探し、発表する。	
期末考査														
10 11月	構成・展開を理解する	貨幣共同体	○					9	・段落相互の関係を意識して、主張や論理展開を的確に理解する。 ・表現に注意して、筆者の特徴的な見解を理解する。 ・ものの見方・感じ方・考え方を深める。	主張や展開を的確に理解しようとしている。(行動の観察)	主張や論理展開、表現等に注意して、筆者の主張や見解を丁寧に読み取ろうとしている。(発問の答え・記述の確認・定期考査)	作品を通して、新たなもの見方・考え方に気づく。(記述の確認)	個人で読み取った論理展開や筆者の主張について、ペアで確認する。	
	生き方について考える	死と向き合う				○		8	・本文に取り上げられた死に対する向き合い方の理解を深める。 ・読み取った内容を踏まえて生徒自身の死生観を深め、考えをまとめる。	取り上げられた死に対する向き合い方について考えようとしている。(行動の観察)	個人の死生観を深め、それを分かりやすく表現しようとしている。(行動の観察・記述の確認)	現代の社会で死がどのように扱われているか、知識を深める。(記述の確認・定期考査)	・詩の鑑賞文を書く。 ・話し合いを通して「人間の質」について考える。	
中間考査①														
12 1月	要旨を的確に捉える	リスク社会とその希望	○					9	・日本の近代化の問題点を読み取ることができる。 ・論の展開を丁寧に捉え、要旨を的確に捉えることができる。 ・多くの符号を持つ意味を理解する。	日本の近代化について読み取ろうとしている。(行動の観察)	段落の関係性等に注意しながら、論の展開を丁寧に捉え、要旨を読み取ろうとしている。(記述の確認・定期考査)	多くの符号を持つ意味合いについて理解し、本文中での役割を知る。(記述の確認・定期考査)	個人で書いた要旨についてペアで意見交換する。	
中間考査②														
2 3月	人の生き方・考え方について思考する	表札				○		8	・詩歌の表現の中からの的確に作者の表現したい内容をとらえることができる。 ・詩の表現を味わい、詩に興味関心を持つ。	詩の表現に着目し、詩が描く内容を興味を持って味わうことができる。(行動の観察・発問)	詩に描かれた内容を的確に読み取り、表現することができる。(記述の確認)	人の行動と心情の関係について理解する。(記述の確認・定期考査)	作者の生活人としての有様を想像し、それをペアで話し合う。	
期末考査														
2単位 70時間の場合の例								70						

令和3年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
古典B	普通科文系	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
古典B古文編 [改訂版] ・ 古典B漢文編 [改訂版] （三省堂 古B 333・334）		新総合図説国語（東京書籍）、漢文読本（大修館書店） 新版完全マスター古典文法（第一学習社） 新明説漢文（尚文出版）、解法古文単語350（数研出版）	

科目の目標	古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書をしようとしていたりしている。</li> <li>・積極的に自分の意見や考えが表現できる。</li> <li>・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。</li> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。</li> <li>・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。</li> <li>・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。</li> <li>・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。</li> </ul>	
評価方法	<p>【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。</p> <p>【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。</p>		

「古典B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（文系）3年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体の評価規準（評価方法）			単元全体で 取り上げる 言語活動／学習活動	備考 （他教科との関係、 学校図書館の活用、 ICTの活用等）	
			ア	イ	ウ	エ	オ		関心・意欲・ 態度 （評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 （評価方法）	知識・理解 （評価方法）			
4～5	《古文》 歌論を読む 日記を読む  《漢文》 漢詩を読む 小説を読む	《古文》 深草の里（無名抄） 一字の違ひ（正徹物語） うつろひたる菊（蜻蛉日記）  《漢文》 飲酒（陶潜） 魚服記（統玄怪録）	◎	○			20	《古文》 ・日本文芸の中核をなす和歌に関する評論を読み、作品の根底にある発想を知ることで、作品を読解・鑑賞する力を養うとともに、わが国の伝統と文化について理解を深める。 ・女性の手になる日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに、それぞれの作品にあらわれた感じ方、考え方を参考にして、作品を鑑賞する。 《漢文》 ・漢詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。 ・小説の読解を通して、その構成や展開に即して内容を的確にとらえるとともに、漢文に親しむ姿勢をもつ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 （行動の観察）	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。 （定期考査など）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、杜甫の詩が事実を淡々と記述していることの効果や意図について話し合う。		
中間考査①														
5～6	《古文》 物語を読む  《漢文》 文を読む 思想を読む	《古文》 廃院の怪（源氏物語） 車争ひ（源氏物語）  《漢文》 師説（古文真宝後集） 青取之於藍、而青於藍（荀子）	○	◎			26	《古文》『源氏物語』を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界にふれるとともに、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》唐宋八大家の一人である韓愈の文章や中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。 （行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。 （記述の確認・定期考査）	『源氏物語』の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。 （定期考査）	・（読むこと）空蟬の歌や源氏の歌に託された思いを読み取るとともに、描写や心理表現に注意して登場人物の行動や心情を理解する。		
中間考査②														
7～9	《古文》 物語を読む  《漢文》 思想を読む	《古文》 明石の君の苦悩（源氏物語） 女三の宮の降嫁（源氏物語）  《漢文》 夢為胡蝶（荘子） 聖人不期修古（韓非子）	◎	○			24	《古文》『源氏物語』を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界にふれるとともに、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》中国古代の思想家の文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。 （行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。 （記述の確認・定期考査）	作品の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を読解に結びつけている。 （定期考査）	・（読むこと）各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのかを考え、理解する。 ・（書くこと）『無明草子』の女君評を参考に、明石の上、紫の上の優れている点について考察し記述する。		
期末考査														
4単位 140時間の場合の例							70							

# 令和3年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
文系国語演習	普通科文系	3	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		プリント等	

科目の目標	古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。過去の入試で使用された問題等に取り組み、古文単語や文法、漢文句法など既習の知識を再確認し、その定着を図るとともに、速く正確に問題を解く実践的な読解力、記述力を身に付ける。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書をしようとしていたりしている。</li> <li>・積極的に自分の意見や考えが表現できる。</li> <li>・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。</li> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。</li> <li>・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。</li> <li>・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。</li> <li>・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。</li> </ul>	
評価方法	<p>【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。</p> <p>【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。</p>		

「文系国語演習」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（文系）3年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価規準（評価方法）			単元全体で 取り上げる 言語活動／学習活動	備考 （他教科との関係、 学校図書館の活用、 ICTの活用等）
			ア	イ	ウ	エ	オ		関心・意欲・ 態度 （評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 （評価方法）	知識・理解 （評価方法）		
10～11	《古文》 物語を読む  《漢文》 説話を読む	《古文》 「松陰中納言物語」 「源氏物語」 「宇津保物語」 「今昔物語集」  《漢文》 「四溟詩話」 「張耒集」 「陸文定公集」 「陋軒詩」	◎	○			20	《古文》 ・「松陰中納言物語」を読み、源中納言を巡る様々な出来事を読み取りながら、室町時代の人々の考え方や価値観に触れる。 ・「源氏物語」を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界に触れる。 《漢文》 ・漢詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。 ・説話の読解を通して、その構成や展開に即して内容を的確にとらえるとともに、漢文に親しむ姿勢をもつ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。（行動の観察）	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。（記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。（定期考査など）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、杜甫の詩が事実を淡々と記述していることの効果や意図について話し合う。	
中間考査①													
12～1	《古文》 物語を読む  《漢文》 文を読む 思想を読む	《古文》 「鳥辺山物語」 「夢の通ひ路物語」  《漢文》 「陋軒詩」 「篁墩文集」		○	◎		26	《古文》室町時代に成立した「鳥辺山物語」などを読み、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》程敏政などの文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。（行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	説話文の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を讀解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）行動描写や心理表現に注意して登場人物の意図や心情を理解する。 ・（話すこと）漢文における比喩表現の重要性について考え、陸樹聲が比喩を用いた意図について話し合う。	
中間考査②													
2～3	《古文》 物語を読む  《漢文》 思想を読む	《古文》 「苔の衣」 「折々草」  《漢文》 「琴操」 「抱経堂文集」	◎	○			24	《古文》鎌倉期に成立した源氏の権大納言の一代記、「折々草」などを読み、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》「抱経堂文集」などの文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。（行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を讀解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのかを考え、理解する。 ・（書くこと）程敏政の主張する点で現代社会にも通用する点について考察し記述する。	
期末考査													
4単位 140時間の場合の例							70						

# 令和3年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
文系国語演習+	普通科文系	3	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		プリント等	

科目の目標	古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。過去の入試で使用された問題等に取り組み、古文単語や文法、漢文句法など既習の知識を再確認し、その定着を図るとともに、速く正確に問題を解く実践的な読解力、記述力を身に付ける。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書をしようとしていたりしている。</li> <li>・積極的に自分の意見や考えが表現できる。</li> <li>・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。</li> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。</li> <li>・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。</li> <li>・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。</li> <li>・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。</li> </ul>	
評価方法	<p>【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。</p> <p>【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。</p>		

「文系国語演習+」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（文系）3年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価規準（評価方法）			単元全体で 取り上げる 言語活動／学習活動	備考 （他教科との関係、 学校図書館の活用、 ICTの活用等）
			ア	イ	ウ	エ	オ		関心・意欲・ 態度 （評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 （評価方法）	知識・理解 （評価方法）		
10～11	《古文》 物語を読む  《漢文》 説話を読む	《古文》 「松陰中納言物語」 「源氏物語」 「宇津保物語」 「今昔物語集」  《漢文》 「四溟詩話」 「張耒集」 「陸文定公集」 「陋軒詩」	◎	○			20	《古文》 ・「松陰中納言物語」を読み、源中納言を巡る様々な出来事を読み取りながら、室町時代の人々の考え方や価値観に触れる。 ・「源氏物語」を読み、光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界に触れる。 《漢文》 ・漢詩を読み、詩の表現上の特色を理解し、主題を的確にとらえ、優れた表現に親しむ。 ・説話の読解を通して、その構成や展開に即して内容を的確にとらえるとともに、漢文に親しむ姿勢をもつ。	作品のテーマや論点、作者の感性や心情を読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。 （行動の観察）	各作品で話題になっている論点やテーマを正確に読み取り、作者や登場人物の主張や心情を理解している。 （記述の確認・定期考査など）	・さまざまなものの見方、考え方、感じ方に視野を広げ、言語感覚を豊かにし、和歌の鑑賞に役立てている。 ・漢詩の仕組みや押韻について理解している。 （定期考査など）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、話題になっている論点やテーマを読み取り、作者の詠歌に対する思いを理解する。 ・（話すこと）短詩形文学における表現の重要性について考え、杜甫の詩が事実を淡々と記述していることの効果や意図について話し合う。	
中間考査①													
12～1	《古文》 物語を読む  《漢文》 文を読む 思想を読む	《古文》 「鳥辺山物語」 「夢の通ひ路物語」  《漢文》 「陋軒詩」 「篁墩文集」		○	◎		26	《古文》室町時代に成立した「鳥辺山物語」などを読み、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》程敏政などの文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。 （行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。 （記述の確認・定期考査）	説話文の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を讀解に結びつけている。 （定期考査）	・（読むこと）行動描写や心理表現に注意して登場人物の意図や心情を理解する。 ・（話すこと）漢文における比喻表現の重要性について考え、陸樹聲が比喻を用いた意図について話し合う。	
中間考査②													
2～3	《古文》 物語を読む  《漢文》 思想を読む	《古文》 「苔の衣」 「折々草」  《漢文》 「琴操」 「抱経堂文集」	◎	○			24	《古文》鎌倉期に成立した源氏の権大納言の一代記、「折々草」などを読み、時代を超えた人間の真実にふれることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》「抱経堂文集」などの文章を読み、そこにこめられた作者の人間・社会に対する思想を読み取り、ものの見方・考え方を豊かにする。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。 （行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。 （記述の確認・定期考査）	作品の特質を理解し、その知識および文法や語法の知識を讀解に結びつけている。 （定期考査）	・（読むこと）各場面の情景描写や和歌が、その場面の主題とどう関連するのかを考え、理解する。 ・（書くこと）程敏政の主張する点で現代社会にも通用する点について考察し記述する。	
期末考査													
4単位 140時間の場合の例							70						

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
詳説世界史	普通科文系	3年	4
教科書(出版社・タイトル)		補助教材等	
なし		独自教材(自作プリント) 世界史B(東京書籍) 浜島書店 アカデミア世界史	

科目の目標	「世界史B」で学習した世界の歴史の大きな枠組みと展開の理解をもとに、時間軸や空間軸を設定し、各地域ごとの歴史や同時代の他地域との関係を整理・把握するための歴史的思考力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「詳説世界史」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 3年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法) ・行動観察 ・提出状況	(評価の方法) ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	(評価の方法) ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	(評価の方法) ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	地域史	4 5 6 7	43 (50)	<p>・各地域における詳細な歴史の流れ及び社会・経済の仕組みや文化の成り立ちや、地域ごとに概観はするが、隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・各地域における詳細な歴史の流れ及び社会・経済の仕組みや文化の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・各地域の歴史形成を時間的なつながりに着目して捉え、論理的に思考し適切に表現している。</p>	<p>・各地域における詳細な歴史の流れ及び社会・経済の仕組みや文化に関する資料から有用な情報を適切に選択して、関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理している。</p>	<p>・各地域における詳細な歴史の流れ及び社会・経済の仕組みや文化についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。</p>	<p>①西アジア史 ②東アジア・東南アジア史 ③内陸アジア史 ④南アジア史 ⑤西ヨーロッパ史 ⑥東ヨーロッパ史 ⑦アメリカ史</p>	<p>・各地域における歴史の概観や特徴、類似点や相違点、影響を他者に伝達する。</p>
2	同時代史	8 9 10 11 12 1 2	62 (69)	<p>・同時代における様々な歴史及び社会・経済の仕組みや文化の成り立ちや、隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・同時代における様々な国家の政治及び社会・経済の仕組みや文化の特色を多面的・多角的に比較し、その違いを適切に表現している。</p> <p>・各地域の歴史形成を時間的なつながりに着目して捉え、論理的に思考し適切に表現している。</p>	<p>・同時代における様々な国家の政治の流れ及び社会・経済の仕組みや文化に関する資料から有用な情報を適切に選択して、関連する事項を比較したり、因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して、世界史の同時代的なつながりに着目して整理している。</p>	<p>・同時代における様々な国家の政治及び社会・経済の仕組みや文化についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。</p>	<p>①前20～前11世紀の世界 ②前10～前7世紀の世界 ③前6～前5世紀の世界 ④前4～前3世紀の世界 ⑤前2～前1世紀の世界 ⑥1～2世紀の世界 ⑦3～4世紀の世界 ⑧5～6世紀の世界 ⑨7世紀の世界 ⑩8～9世紀の世界 ⑪9～10世紀の世界 ⑫11世紀の世界 ⑬12世紀の世界 ⑭13世紀の世界 ⑮14世紀の世界 ⑯15世紀の世界 ⑰16世紀の世界 ⑱17世紀の世界 ⑲18世紀の世界 ⑳19世紀前半の世界 ㉑19世紀後半～20世紀初頭の世界 ㉒20世紀前半の世界 ㉓20世紀後半の世界 ㉔20世紀末～21世紀初頭の世界</p>	<p>・各時代の歴史の概観や特徴、類似点や相違点、影響を他者に伝達する。</p>

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
詳説日本史	普通科文系	3年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		自主教材（テーマ別自作プリント）	

科目の目標	「日本史B」で学習した日本史の基本的事項の理解をもとに、政治・外交・経済・文化のテーマを通して歴史的思考力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
各分野の歴史的事象を時代ごとに学んで把握するだけでなく、一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、総合的に歴史を考察しようとしている。	過去から現在までの事象の流れを大局的に学ぶことによって、各時代の人々の考え方の相違や社会の特色の変化の要因や背景を理解し、考察することができる。	各分野の歴史的事象の関連を意識し、各時代の特色について自分でまとめ、説明することができる。	一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、過去から現在までの事象の流れと各時代の特色について理解することができる。
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・提出状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集状況</li> <li>・資料活用状況</li> <li>・資料分析状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・模擬試験</li> </ul>

「詳説日本史」 指導と評価の年間計画

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)		
1	原始・古代～近現代の外交史	4 5	26	各分野の歴史的事象を時代ごとに学んで把握するだけでなく、一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、総合的に歴史を考察しようとしている。	過去から現在までの事象の流れを大局的に学ぶことによって、各時代の人々の考え方の相違や社会の特色の変化の要因や背景を理解し、考察することができる。	各分野の歴史的事象の関連を意識し、各時代の特色について自分でまとめ、説明することができる。	一分野の歴史的事象を時代を通して把握し、過去から現在までの事象の流れと各時代の特色について理解することができる。	外交に関する歴史的事象の知識をはじめ、目的や影響を学ぶ。 各時代の外交の目的や影響の違いをまとめ、意見交換を行う。 文化に関連する事項を取り上げ、外交が文化形成に与えた役割をまとめる。	各国との外交について、風土・政権の特徴・日本への影響などを互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
2	原始・古代～近現代の文化史	6 7	28	各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を積極的に学習しようとしている。 各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめようとしている。	各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を説明することができる。 各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を説明することができる。	各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色をまとめることができる。 各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめることができる。	各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を理解することができる。 各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景を理解することができる。	各時代の芸術作品・文芸品・建造物などを通して、それぞれの時代の特色を学ぶ。 各時代の特色を理解した上で、政治・外交面と関連づけて文化形成の背景をまとめる。	各時代の芸術作品・文芸品・建造物などについて、互いの意見を交換し合うことによって自らの意見を発展させる。
3	原始・古代～近現代の政治史	8 9 10	28	統治の方法としくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を積極的に学ぼうとしている。 政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらまとめ、意見交換を行おうとしている。	統治の方法としくみの変遷を説明することができる。 原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を説明することができる。 政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらまとめ、意見交換を行うことができる。	統治の方法としくみの変遷をまとめることができる。 原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色をまとめることができる。 政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらまとめ、意見交換を行うことができる。	統治の方法としくみの変遷を理解することができる。 原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を理解することができる。 政治の特色や変化した背景を理解することができる。	統治の方法としくみの変遷を学習する。 原始・古代、中世・近世、近現代と3区分し、それぞれの政治の特色を学ぶ。 政治の特色や変化した背景を外交・文化の側面も考慮しながらまとめ、意見交換を行う。	各時代の政治の特徴について、隣接する時代の政治との関連性を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
4	原始・古代～近現代の社会 経済史	10 11 12	31	土地制度史や教育制度、経済のしくみの変遷を積極的に学習しようとしている。 経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを積極的に学習しようとしている。	土地制度史の変遷を政治史と関連させながら説明することができる。 教育制度の変遷を説明することができる。 経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめることができる。 経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色をまとめることができる。	土地制度史の変遷や教育制度、経済のしくみの変遷をまとめることができる。 経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きと関連させ、各時代ごとに経済の特色をまとめる。	土地制度史の変遷や教育制度の変遷、経済のしくみの変遷を理解することができる。 経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとの経済の特色を理解することができる。	土地制度史の変遷を政治史と関連させながら学習する。 教育制度の変遷を学習する。 経済のしくみの変遷を学習し、各時代ごとの特色をまとめる。 経済の発展と関連させながら担い手である民衆の動きを学び、各時代ごとに特色をまとめる。意見交換も行う。	土地制度と政治史との関性について、他者と意見交換して自らの意見を発展させる。

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
詳説地理	普通科文系	3年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		独自教材（自作プリント）および2年次使用した地理Bの教材	

科目の目標	第2学年で学んだ地理Bだけでは不足している地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地理的事象について、より関心を高めることができたか。</li> <li>意欲的に学習課題を追究していたか。</li> <li>よりよい国際社会の実現に主体的に行動する態度を十分に身につけられたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界のさまざまな事象を地理的事象としてとらえることができたか。また、地理的事象について、2年次より深く追究し、課題を見出すことができたか。</li> <li>系統地理的、地誌的な考察の方法を2年次以上に身につけることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理的事象を追究するのに必要な地図や統計、画像などの収集、活用、表現法といった技能を向上させることができたか。</li> <li>学習の中で追及し考察した過程や結果について、さまざまな方法で適切に表現する方法を身につけ、定着させることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけた上で、系統地理的内容と地誌を関連づけて理解することができたか。</li> </ul>
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>提出状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>レポート</li> <li>プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料収集状況</li> <li>資料活用状況</li> <li>資料分析状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>小テスト</li> <li>模擬試験</li> </ul>

「詳説地理」 指導と評価の年間計画

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法) ・行動観察 ・提出状況	(評価の方法) ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	(評価の方法) ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	(評価の方法) ・定期考査 ・小テスト		
1	世界の人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	4 ・ 5	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、関心を持って学習しようとしている。</li> <li>発展途上国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。</li> <li>先進国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。</li> <li>村落と都市の形態による分類と特色、発達について、関心を持って学習しようとしている。</li> <li>都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、関心を持って学習しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、多角的に考察している。</li> <li>発展途上国の人口問題について、多角的に考察している。</li> <li>先進国の人口問題について、多角的に考察している。</li> <li>村落と都市の形態による分類と特色、発達について、多角的に考察している。</li> <li>都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> <li>発展途上国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> <li>先進国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> <li>村落と都市の形態による分類と特色、発達について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> <li>都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、基本的な知識を身につけている。</li> <li>発展途上国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。</li> <li>先進国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。</li> <li>村落と都市の形態による分類と特色、発達について、基本的な知識を身につけている。</li> <li>都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、基本的な知識を身につけている。</li> </ul>	世界の人口 <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、具体事例を通して多角的に理解する。</li> <li>人口問題</li> <li>発展途上国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> <li>先進国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> <li>村落と都市</li> <li>村落と都市の形態による分類と特色、発達について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> <li>都市・居住問題</li> <li>都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展途上国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> <li>先進国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> <li>村落と都市の形態による分類と特色、発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> <li>都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> </ul>
2	生活文化 民族と宗教	6	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、関心を持って学習しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、基本的な知識を身につけている。</li> </ul>	生活文化 <ul style="list-style-type: none"> <li>気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、具体事例を通して多角的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> </ul>
3	現代世界の国家 民族・領土問題	7 ・ 8	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>人種・民族の分類などについて、関心を持って学習しようとしている。</li> <li>諸民族の生活の特色について、関心を持って学習しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人種・民族の分類などについて、多角的に考察している。</li> <li>諸民族の生活の特色について、多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人種・民族の分類などについて、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> <li>諸民族の生活の特色について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人種・民族の分類などについて、基本的な知識を身につけている。</li> <li>諸民族の生活の特色について、基本的な知識を身につけている。</li> </ul>	民族と宗教 <ul style="list-style-type: none"> <li>人種・民族の分類などについて、具体事例を通して多角的に理解する。</li> <li>諸民族の生活の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人種・民族の分類などについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> <li>諸民族の生活の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> </ul>
4	地域区分とは何か 地域区分のさまざまなスケール 地誌の考察方法	9 ・ 10	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家の三要素や、国家の様々な形態について、関心を持って学習しようとしている。</li> <li>民族・領土問題について、関心を持って学習しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家の三要素や、国家の様々な形態について、多角的に考察している。</li> <li>民族・領土問題について、多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家の三要素や、国家の様々な形態について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> <li>民族・領土問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家の三要素や、国家の様々な形態について、基本的な知識を身につけている。</li> <li>民族・領土問題について、基本的な知識を身につけている。</li> </ul>	現代世界の国家 <ul style="list-style-type: none"> <li>国家の三要素や、国家の様々な形態について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> <li>民族・領土問題</li> <li>民族・領土問題について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家の三要素や、国家の様々な形態について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> <li>民族・領土問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> </ul>
5	世界の諸地域	11 ・ 12 ・ 1	51	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、関心を持って学習しようとしている。</li> <li>各地域の概況や抱えている課題について、関心を持って学習しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、多角的に考察している。</li> <li>各地域の概況や抱えている課題について、多角的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> <li>各地域の概況や抱えている課題について、統計や写真、地図を適切に活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、基本的な知識を身につけている。</li> <li>各地域の概況や抱えている課題について、基本的な知識を身につけている。</li> </ul>	現代世界の地域区分 <ul style="list-style-type: none"> <li>気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> <li>現代世界の諸地域</li> <li>各地域の概況や抱えている課題について、具体事例を通して多角的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> <li>各地域の概況や抱えている課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。</li> </ul>

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
倫理	普通科	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 「倫理」		第一学習社「テオリア 最新倫理資料集」 東京書籍「要点マスター 倫理 演習ノート」	

科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 青年期の課題と、人間としての在り方生き方について、おもに古今東西の諸思想の学習をとおして、理解と思索を深める。</li> <li>2. 主体としての自己の確立をめざして、とくに人間の尊厳についての倫理的な考え方を学びとり、人格形成に努める意欲をたかめる。</li> <li>3. 現代社会の倫理的な課題について、主体的な思考と公正な判断の能力を身につける。</li> </ol>		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらにかかわる諸課題を探求する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探求するとともに、良識ある公民としての広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ、追究し考察した過程や結果をノートやレポートにまとめ、発表や討論などを通して適切に表現する。	青年期における自己形成や人間としての在り方・生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するよう活用している。	青年期における自己形成や人間としての在り方・生き方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。

「倫理」 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校・普通科・3年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)		
1	第1章 青年期の課題と自己形成 1 青年期の意義 2 青年期の課題と生き方	4	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート・課題の提出状況</li> <li>ペアワーク、発表</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート、レポート</li> <li>グループディスカッション、プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料収集、活用、読み取り状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己がおかれた現在の状況をふまえ、人生における青年期の位置づけや特徴について考える。</li> <li>青年期特有の課題であるモラトリアムとしての時期や、自我のめざめについて学ぶ。</li> <li>青年期の発達課題であるアイデンティティの確立について理解を深め、自己実現の追求、自己理解の方法などについて学び、自己にとっての真の幸福や生きがいについて考える。</li> </ul>	討論 各自が考えたことをもとに、隣同士で話し合う
2	第2章 人間としての自覚 1 人間とは何か 2 ギリシャの思想 3 キリスト教 4 イスラーム 5 仏教 6 中国の思想 7 芸術と人間	4・5	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間とは何かという原理的な問題を古代ギリシャにおける先哲の思想、キリスト教・イスラーム・仏教の成立過程や中国の先哲の思想を、意欲関心をもって主体的に学び、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて考えようとする態度を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間について、古代ギリシャの歴史や思想、古代ユダヤ教やキリスト教の成立と中世までの発展過程、イスラームの成立と発展過程、仏教の成立と発展過程、古代中国の歴史や思想などの知識を活用し、客観的に考察し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて、広い視野から公正な判断をしている。それを文章で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の本質に関して、原典資料や関連書物、関連する芸術作品や歴史遺産を探索したりして、その内容を的確にまとめ、それに関する自己の考えを論理的に発表・討論することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代ギリシャの思想、古代ユダヤ教、イスラーム、仏教、中国などの思想や実践について専門用語の概念とともに、的確に理解している。</li> <li>それらの意義について理解し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方と関連づけた知識として習得している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の定義について考える。</li> <li>先哲の思想やユダヤ教、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想などについての特徴や共通点・相違点、現代社会への影響を理解する。</li> </ul>	討論 各自がまとめたことをもとに、グループやクラスで話し合い
3	第3章 国際社会に生きる日本人の自覚 1 日本人の精神風土 2 外来思想と日本の伝統思想 3 西洋思想と日本人の近代化 4 国際社会に生きる日本人の自覚	5・6・7	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の風土や伝統について関心をもち、現代の日本人の自然観、宗教観、倫理観などの特質について意欲的に探究し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて考えようとする態度を身につけている。</li> <li>日本人の仏教・儒教の受容と理解、その後に展開された各思想について意欲的に探究している。</li> <li>日本人の西洋思想の受容と日本人の近代化の過程を意欲的に探究している。</li> <li>戦後の日本思想を意欲的に探求し、国際社会に生きる日本人として国際社会における役割と責任を果たそうとする態度が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の風土や伝統と自己との関わりについて多面的・多角的に考察している。</li> <li>日本の伝統思想をおのずから、島国、重層的文化、清き明き心などの諸概念を用いて、文章で表現することができる。</li> <li>日本の古代・中世・近世の様々な宗教家や思想家の思想や実践の意義について、日本人の伝統的宗教観・倫理観と結びつけて主体的かつ客観的に考察している。</li> <li>日本の幕末から近代の様々な思想家の思想や実践の意義について、主体的かつ客観的に考察している。</li> <li>国際社会に生きる日本人として国際社会での役割と責任について、自己の生き方・あり方と関連づけて、文章で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の精神風土を『古事記』『日本書紀』などの古典、和辻哲郎の『風土』などの原典資料を読んだり、日常生活に現われている事例を探索したりして、その内容を的確にまとめ、自己の考えを論理的に発表・討論することができる。</li> <li>日本人の精神風土に関連する芸術作品や歴史遺産、現在の日本における日常生活での諸思想の要素などを探索したりして、その内容を的確にまとめ、それに関する自己の考えを論理的に発表・討論することができる。</li> <li>戦後日本の社会・政治における時事問題などに現われる日本人の特質や戦後日本の思想動向の諸要素を探索したりして、その内容を的確にまとめ、それに関する自己の考えを論理的に発表・討論することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統的自然観、宗教観、倫理観について、専門用語の概念とともに、的確に理解している。</li> <li>それらの意義について、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方と関連づけた知識として習得している。</li> <li>日本の様々な宗教家や思想家の生涯や思想、実践の意義について、専門用語の概念とともに、的確に理解している。</li> <li>日本の幕末から近代の歴史に関する基本的な理解にもとづいて、様々な思想家の生涯や思想、実践の意義について、専門用語の概念とともに、的確に理解している。</li> <li>戦後の日本思想に関する基本的な理解を通じて、国際社会における役割と責任を果たそうとするのに有益な知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古代日本人のものの考え方を精神風土との関係でとらえるとともに、宗教観・倫理観などについて考える。</li> <li>外来思想である仏教・儒教の受容、日本の仏教の特色、仏教と日本人の思想形成との関わり、無常観・美意識・武士道などにおける特色を理解する。</li> <li>西洋文化との接触後、啓蒙思想、自由民権思想、国家意識、キリスト教と近代日本などの日本人の思想形成について理解する。</li> <li>文学の世界における日本人の思想形成や、明治から大正までの代表的な思想の特徴とその意義をとらえる。</li> <li>日本思想の中の人間観について考察し、国際社会における役割と責任を果たす日本人としての自覚を主体的に形成する。</li> </ul>	討論 各自がまとめたことをもとに、グループやクラスで話し合い

4	<p>第4章 現代を生きる人間の倫理</p> <p>1 現代とはどういう時代か</p> <p>2 人間の尊厳</p> <p>3 民主社会の倫理</p> <p>4 新たな人間像の模索</p>	7・9・10	15	<p>・現代に生きる人間として直面する諸課題を倫理的な観点から自己の課題として意欲的に考えようとしている。</p> <p>・人間尊重の精神、合理的精神、近代民主主義の精神、人格の尊厳という倫理的価値観の基礎になった諸思想について、主体的に探究し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて考えようとする態度を身につけている。</p> <p>・近代市民社会の問題を克服しようとしたヘーゲルの倫理的思想、功利主義、社会主義、プラグマティズムについて、主体的に探究し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて考えようとする態度を身につけている。</p> <p>・近代的な理性への問い直しの観点から、実存哲学、フランクフルト学派、構造主義、分析哲学などの現代思想について、主体的に探究し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて考えようとする態度を身につけている。</p>	<p>・現代に生きる人間が直面している諸課題について倫理的観点から多面的で多角的な考察をはかり、主体的で公正な判断をしている。</p> <p>・人間尊重の精神、合理的精神、近代民主主義の精神、人格の尊厳という倫理的価値観の基礎を形成した諸思想について、主体的かつ客観的に考察し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて、広い視野から公正な判断をしている。</p> <p>・ヘーゲルの倫理的思想、功利主義、社会主義、プラグマティズムや近代的な理性への問い直しの観点から、実存哲学、フランクフルト学派、構造主義、分析哲学などの現代思想を主体的かつ客観的に考察し、自己の生き方・あり方や現代の社会のあり方に関連づけて、広い視野から公正な判断をしている。</p> <p>・各思想に関する基本的な諸概念を用いて、文章で表現することができる。</p>	<p>・現代に生きる人間が直面している諸課題に関する資料を、倫理的観点にもとづいて、様々なメディアから収集し、それを主体的、客観的に分析して、自己の状況に関連づけて論理的に発表・討論することができる。</p> <p>・教科書や資料集などに掲載されている原典資料や関連書物を読んだり、関連する芸術作品や歴史遺産、現在の日常生活や、社会・政治における時事問題などに現われる諸思想の要素を探索したりして、その内容を的確にまとめ、それに関する自己の考えを論理的に発表・討論することができる。</p>	<p>・西洋近代の歴史に関する基本的な理解にもとづいて、人間尊重の精神、合理的精神、近代民主主義の精神、人格の尊厳という倫理的価値観の基礎になった諸思想について、専門用語の概念とともに、的確に理解している。</p> <p>・ヘーゲルの倫理的思想、功利主義、社会主義、プラグマティズムについて、特にそれらの諸思想が近代市民社会の問題をどのように克服しようとしたのかという観点から、専門用語の概念とともに、的確に理解している。</p> <p>・近代的な理性への問い直しの観点から、実存哲学、フランクフルト学派、構造主義、分析哲学などの現代思想について、専門用語の概念とともに、的確に理解している。</p> <p>・それらの意義について、自己のあり方や現代の社会のあり方と関連づけた知識として習得している。</p>	<p>討論</p> <p>各自がまとめたことをもとに、グループやクラスで話し合い</p>
5	<p>5 自然や科学技術と人間とのかかわり</p> <p>6 民主社会の成熟のために</p> <p>第5章 現代の課題を考える</p> <p>1 生命</p> <p>2 家族</p> <p>3 地域社会</p> <p>4 情報社会</p> <p>5 文化と宗教</p> <p>6 環境</p> <p>7 国際平和と人類の福祉</p>	10・11・12	20	<p>・現代の人間や社会が直面する諸課題について、根底にある自然観の問題から原理的に考察し、他者とともに生きるあり方や生命への畏敬の念にもとづいて、自己の課題として意欲的に考えようとしている。</p> <p>・現代における差別や偏見の問題、生命の問題、家族の問題、地域社会の問題、情報社会の問題、グローバル化の中での文化と宗教の問題、地球規模の環境問題などについて、それが生み出される土壌から原理的に考察し、他者とともに生きるあり方について、自己の課題として意欲的に考え、実践しようとしている。</p> <p>・自らの生き方や今日の社会のあり方を反省しつつ「豊かさ」とは何かを主体的に問う姿勢を有し、国際平和と人類の福祉について、主体的な関心を持ち、自己の課題としてよりよい生き方や、よりよくともに在る社会を考察しようとする意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>・様々な思想に見られる自然観に関する基本的な知識のもとに、現代の人間や社会が直面する諸課題について、他者とともに生きるあり方や生命への畏敬の念にもとづいて、主体的かつ客観的に考察し、公正な判断をしている。</p> <p>・現代における差別や偏見の問題について、問題の背景から原理的に考察し、他者とともに生きるあり方について、広い視野から公正な判断をし、文章で表現できている。</p> <p>・生命や医療、死の問題、家族や男女、少子高齢化の問題、地域社会やコミュニティの問題、情報社会やメディアの問題、グローバル化の中での文化と宗教の問題、地球規模の環境問題や環境保全行動に関する事例、「豊かさ」を多角的に考えさせる事例や、国際平和と人類の福祉をめざす取り組み、それに関する諸問題を、様々なメディアや日常生活体験から探索し、よりよくともに在る社会をめざす観点から主体的に分析している。</p> <p>・その分析内容を論理的に発表・討論することができる。</p>	<p>・様々な思想に見られる自然観に関する基本的な理解のもとに、自然と人間との関わり、さらに科学技術の発達の意義と課題解決に向けた考え方などを、専門用語の概念とともに的確に理解し、自己の人格形成や現代社会の課題の考察に生かす知識を身につけている。</p> <p>・現代における差別や偏見の問題について、それが生み出される土壌から理解し、他者とともに生きるあり方の考察に生かす知識を身につけている。</p> <p>・今日生命や医療、死の問題、家族や男女、少子高齢化の問題、地域社会やコミュニティの現状と今後のあり方、情報社会の現状と今後の在り方、グローバル化の中での文化と宗教の問題、地球規模の環境問題、「豊かな社会」について多面的・多角的に理解し、国際平和と人類の福祉の実現に向けて、よりよい生き方や、よりよくともに在る社会の考察に生かす知識を身につけている。</p>	<p>・西洋思想の自然観、東洋思想の自然観の特色をふまえ、現代の環境問題や生命に関わる倫理的課題の解決のために、科学技術の基礎にある自然観を再考し、その内容を理解する。</p> <p>・成熟した民主社会の実現のために、あらゆる差別や偏見などの解決にどのように関わっていくかを認識する。フェミニズムやジェンダーの問題を考える。</p> <p>・現代における正義のとらえ方、生命や死の問題、家族形態、少子高齢化などの問題、望ましいコミュニティのあり方、情報ツールやメディアなどとの向き合い方、グローバル社会における文化と宗教のあり方、環境問題や環境倫理の基本概念、本当の豊かさなどを多角的・多面的に考え、ともによりよく生きていける社会や国際平和と人類の福祉のために求められる生き方や社会のあり方について考える。</p>	<p>討論</p> <p>各自がまとめたことをもとに、グループやクラスで話し合い</p>

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
政治・経済	普通科文系	3年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
政治・経済（東京書籍）		最新図説政経（浜島書店） 要点マスター 演習ノート 政治・経済（東京書籍）	

科目の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 民主主義の本質を理解し、視野を広げて客観的に理解する力を身につける。</li> <li>2. 日本や世界の政治・経済・国際関係などの諸課題について主体的に考察する。</li> <li>3. 公正な立場で判断でき、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</li> </ol>
-------	---

評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
過去から積み重ねられた歴史的意義・背景をふまえ、現代における政治・経済・国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究する。また、国家・社会の一員として平和の実現・維持をめざす。そして、民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	過去から積み重ねられた歴史的意義・背景をふまえ、現代の政治・経済・国際関係に関わる事柄を積極的にとり上げるとともに、自ら課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察する。また、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	過去から積み重ねられた歴史的意義・背景をふまえ、現代の政治・経済・国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、その上で有用な情報を適切に選択して、効果的に活用する。メディア・リテラシーが高まることに留意しながら活動している。	過去から積み重ねられた歴史的意義・背景をふまえ、現代の政治・経済・国際関係に関する基本的な事柄や、その事柄の本質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、知識を身に付けている。

評価の方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・提出状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料収集状況</li> <li>・資料活用状況</li> <li>・資料分析状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>

「政治・経済」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 3年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法) ・行動観察 ・提出状況	(評価の方法) ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	(評価の方法) ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	(評価の方法) ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	第1章 現代の政治 第1節 民主政治の基本原則 第2節 日本国憲法の基本原則	4	6	日本国憲法に対して興味や関心を抱くとともに、現実の人権問題や平和主義にかかわる問題に対して関心を示し、日本が抱える課題に対して追究する態度を示している。	人権保障や平和主義といった憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	人権問題や平和主義に関して様々な手段を使い収集した資料を、自ら設定した課題解決のため主体的に選択し、活用している。	日本国憲法の成立過程を史実と関連し適切に理解し、基本原則について十分な知識を有している。	日本国憲法における基本原則 三大原則の平和主義の内容 日本国憲法の意義	・レポート 日本国憲法から自分の考察対象となる課題を設定し、その課題について考察
2	第3節 日本の政治機構	5	10	立法・行政・司法の三権と地方自治といった日本の政治機構に対して、その仕組みや制度に関心をもち、現実の課題を追究する態度が見られる。	憲法条規上の規定と、現実の三権の状況や中央と地方との関連などを的確に比較し考察している。また、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	三権や地方自治に関する情報を新聞などマスメディアを通じて収集し、学習のために主体的に活用している。	三権や地方自治について、憲法に基づいて、その仕組みや権限、さらに相互の均衡と抑制の在り方などを理解している。	地方自治のしくみを民主主義の実現方法 他の国の制度と今後の課題	・紙上対話 課題レポートに対する紙上での意見交換
3	第4節 現代政治の特質と課題	6	10	政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方や国民の参政の在り方を客観的に考えようとしている。	現実の政治課題に関して課題を見いだし、社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	政党政治や選挙制度、官僚制度などに関する情報を様々なメディアを用いて収集し、かつ学習に必要な情報を主体的に選択し活用している。	政党政治や選挙制度などに関して、客観的な知識を持っている。 世論と政治の関係を理解し、参政の在り方を考察している。	戦後政治の流れと日本の特徴 政党と選挙 政治参加と世論 日本の政治がかかえる問題	・討論 各自がまとめたことをもとに、グループやクラスでの話し合い
4	第5節 現代の国際政治	7	6	現代の国際社会における政治の動向に対して、関心が高まっている。 安全保障についての考え方や、民族紛争といった国際紛争の諸要因を意欲的に探究している。	これからの国際社会における国際連合の在り方について、様々な考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の国際社会における政治の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。 国際社会における日本に関する諸資料を収集し、効果的に活用している。	国際的対立後に、国際間の相互依存、国際法、国際機構が発達したことを理解し、その仕組みや制度の知識を身につけている。	国際政治の特質と国際法 国際連合と国際協力 現代国際政治の動向 国際平和と地域紛争 国際政治と日本	国際社会に関する資料を読み、平和な世の中をつくるためにはどうすればよいかについて議論を行う。
5	第2章 現代の経済 第1節 現代の資本主義経済 第2節 現代経済のしくみ	9	8	現在の日本経済の動向、市場機構や景気変動、金融・財政といった経済の諸理論に対して関心を深めている。 理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。	現代の日本経済の動向から課題を見いだし、経済主体間の経済循環を、現実の経済活動と対応させながら考察している。 基本的知識をもとに、現実の金融・財政問題やその解決方法について、主体的に判断している。	現代の日本経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアから収集している。 収集した資料から市場機構や金融・財政などの学習に役立つ情報を主体的に選択し、活用している。	家計、企業、政府といった経済主体相互の関連が、国民経済を構成していることを理解している。 金融や財政に関する基本的な知識をもとに、金融改革や財政改革といった日本経済の課題に対する十分な理解を示している。	金融政策 バブル経済崩壊後の金融不安 金融の自由化・国際化	・討論 各自がまとめたことをもとに、グループやクラスでの話し合い
6	第3節 日本経済の発展と産業構造の変化 第4節 福祉社会と日本経済の課題	10	10	現実の日本経済の特徴と課題に関心を示している。 高度成長から安定成長、バブル経済からバブル後の不況といった戦後日本経済が歩んだ流れを追究しようとする意欲が見られる	戦後日本経済史との関連し、日本経済の課題を考察している。 国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を的確に判断し、適切に表現している。	戦後日本経済史に関する史料を、様々な文献から幅広く収集している。 様々な課題に関するデータを白書類から収集し、課題解決の手段として活用している。	中小企業や農業問題、消費者問題や公害、労働問題や社会保障といった日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有している。	日本経済の発展と産業構造の変化 日本の中小企業と農業	・日本経済の発展に関する資料を読み、今後の日本について、中小企業や労働・福祉など多様な面からどうすればよいかについて議論を行う。
7	第5節 国民経済と国際経済	11	10	現代の国際経済の動向に対する関心が高まっている。 国際的な相互依存関係の深化など、国際経済の特質を意欲的に追究している。	経済のグローバル化の動きに対して、商品や労働力、資金の移動などから多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	収集した資料から、国際経済の特質、国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割の情報を主体的に選択して活用している。	自由貿易を前提とした戦後国際経済の流れを理解し、為替レートの仕組み、国際通貨基金や世界貿易機関などの仕組みに関する知識を有している。	商品・資本の国際取引 国際収支 資本主義経済の展開 南北問題 世界経済と日本経済のかかわり	・紙上対話 課題レポートに対する紙上での意見交換
8	第3章 現代社会の諸課題 第1節 日本社会の諸課題 第2節 国際社会の諸課題	12	10	現代日本や国際社会の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、望ましい解決の在り方を客観的に考えようとしている。	現代日本や国際社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について公正に判断、表現している。	現代日本や国際社会の諸課題に関する資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。	現代日本や国際社会の政治や経済の諸課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身につけている。	現代日本や国際社会の政治や経済の諸課題	・現代日本や国際社会の政治や経済の諸課題に関する資料を分析し、今後の在り方について議論を行う。

# 令和3年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
文系数学 i a +	普通科文系	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学 I Advanced 東京書籍 数学 A Advanced		参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学 I + A 問題集 東京書籍 改訂版 ニューグローバルβ 数学 I+A+II+B 大学入学共通テスト対応問題集	

科目の目標	数学 I ・ A の演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や問題解決に応用する力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数と式，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，整数の性質および図形の性質の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，整数の性質および図形の性質の各分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，整数の性質および図形の性質において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式，2次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，整数の性質および図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「文系数学 i a +」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科 3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4   9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。</li> </ul>	実力評価テスト ① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10   11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式/マーク式）を扱う総合演習		23					実力評価テスト ②
12 	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		32					後期中間考査①
			105					

## 令和3年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
文系数学 i a ++	普通科文系	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学 I Advanced 東京書籍 数学 A Advanced		参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学 I + A 問題集 東京書籍 改訂版 ニューグローバルβ 数学 I + A + II + B 河合出版 入試精選問題集 4 文系数学のプラチカ I A II B 大学入学共通テスト対応問題集	

科目の目標	数学 I ・ A の演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や高度な問題解決に応用する力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質および図形の性質の学習内容に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質および図形の性質の各分野において、事象を数学的に解釈し、数学を活用して論理的に考察したり、事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり、数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質および図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質および図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「文系数学 i a ++」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科 3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4   9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。</li> </ul>	実力評価テスト ① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10   11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式/マーク式）を扱う総合演習		23					実力評価テスト ②
12 	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		32					後期中間考査①
			105					

# 令和3年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
文系数学 ii b +	普通科文系	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学Ⅱ Advanced 東京書籍 数学B Advanced		参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅱ+B 問題集 東京書籍 改訂版 ニューグローバルβ 数学Ⅰ+A+Ⅱ+B 大学入学共通テスト対応問題集	

科目の目標	数学Ⅱ・Bの演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や問題解決に応用する力を育てる。
-------	---

## 評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルに関心をもつとともに、それらを融合して、事象の考察に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「文系数学 ii b +」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科 3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4   9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。</li> </ul>	実力評価テスト ① 前期中間検査① 前期中間検査② 前期期末検査 実力評価テスト ②
10   11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式/マーク式）を扱う総合演習	23						
12 	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習	32						
			105					後期中間検査①

令和3年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
文系数学 ii b ++	普通科文系	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学II Advanced 東京書籍 数学B Advanced	参考書 数研出版 改訂版 チャート式基礎からの数学II+B 問題集 東京書籍 改訂版 ニューグローバルβ 数学I+A+II+B 河合出版 入試精選問題集4 文系数学のプラチカIAIIB 大学入学共通テスト対応問題集		

科目の目標	数学II・Bの演習を通して既習事項の理解を深め、事象を数学的に考察し処理・表現する能力を伸ばす。さらに、それらを他の事象や高度な問題解決に応用する力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルの学習内容に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルの各分野において、事象を数学的に解釈し、数学を活用して論理的に考察したり、事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり、数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。

「文系数学 ii b ++」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科 3年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4   9	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式）を扱う総合演習		50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断したり，問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，事象を数学的に解釈し，数学を活用して論理的に考察したり，事象の本質や他の事象との関係をもとに多面的・統合的・発展的に考えたり，数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。</li> </ul>	実力評価テスト ① 前期中間考査① 前期中間考査② 前期期末考査
10   11	各分野の重要例題や読解力・思考力・応用力を問う問題，および複数分野融合問題（記述式/マーク式）を扱う総合演習		23					実力評価テスト ②
12 	各分野の基本事項を問う頻出問題や読解力・思考力・応用力を問う問題（マーク式）を扱う総合演習		32					後期中間考査①
			105					

## 令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習物理基礎	普通科文系	3年（前期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「演習物理基礎」 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方	1 速度 ・速さと速度、平均の速さと瞬間の速さ、相対速度について理解させる。 【発展】平面上の速度、相対速度を理解させる。	12	2物体の運動を相対速度の関係を用いて説明しようとし、意欲的に探求しようとする。	速度の意味・考え方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを理解し、表現することができる。	物体の運動を測定し、グラフで表すことができる。	グラフを見て物体の運動の様子を理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査①
		2 加速度 ・直線運動における加速度の定義を理解させる。				加速度の概念を理解し、時間と距離・速度の関係をグラフや式で表すことができる。	等加速度直線運動の3つの式の扱いに習熟し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査①
		3 落体の運動 ・落体の運動は、加速度の大きさgの等加速度直線運動であること、放物運動は、水平方向の等速直線運動と、鉛直方向の等加速度直線運動とに分解して扱えることを理解させる。 【発展】水平投射・斜方投射の式を理解させる。		落体の運動を学ぶ意義を感じ、意欲的に探求しようとする。	放物運動を2方向の運動に分解して式の運用ができる。		自由落下、鉛直投射を等加速度直線運動として捉え、理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査①
	第2章 運動の法則	1 力とのはたらき ・力が運動や変形の原因となること、ベクトル量であることを理解させる。		力のはたらき・性質と運動との関係について、日常に見られる様々な運動等を通して関心を持ち、科学的に探究しようとする。	日常に見られる運動を通して物体にはたらく力を見いだした自らの考えを的確に表現できる。			・ワークシート等 ・前期中間考査①
		2 力のつりあい ・重力・垂直抗力・摩擦力・弾性力など様々な力について理解 ・力の合成・分解、つり合い、作用・反作用の法則について理解する。			重力・垂直抗力・摩擦力・弾性力など様々な力について理解している。	力の合成・分解、つり合い、作用・反作用の法則について作図で示すことができる。	つり合いの2力と作用・反作用を正しく区別できるように理解している。	・ワークシート等 ・前期中間考査②
		3 運動の法則 ・運動の3法則を学習し運動方程式によって力と加速度の		「物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるか」の発問に興味・関心を示している。	慣性の法則、運動方程式が理解でき、問題解決にあたって式の運用ができる。		重力による加速度をもつ落下運動について正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査② ・実験レポート

「演習物理基礎」 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
5		4 摩擦を受ける運動 ・ 静止摩擦と動摩擦の大きさや向きについて学習し、動摩擦を受ける物体の運動を運動方程式で説明できるようにさせる。		静止摩擦と動摩擦の違いに注目し、関心を寄せ、意欲的に探求しようとする。		摩擦力の実験から摩擦係数を確認し、的確に整理している。	摩擦力について理解している。それがはたらくときの物体の運動について正しく理解し、知識を身につけている。	・ ワークシート等 ・ 前期中間調査② ・ 実験レポート
		5 液体や気体から受ける力 ・ 流体からの受ける力（圧力・浮力・抵抗力）について学習し、その大きさや向きを説明できるようにさせる。		水中や空気中で圧力があることに関心を寄せ、意欲的に探求しようとする。		空気抵抗を受けながら落下する物体について、その運動の特徴を解析し、的確に整理している。		・ ワークシート等 ・ 前期期末調査
	第3章 仕事と力学的エネルギー	1 仕事 ・ 仕事の定義、仕事の原理、仕事率について理解させる。		エネルギー概念と仕事について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	仕事の定義、仕事の原理について考察し、考えを表現している。		仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を理解し、知識を身につけ、活用できる。	・ ワークシート等 ・ 前期期末調査
		2 運動エネルギー ・ 運動エネルギーの式を理解し、運動エネルギーと仕事の関係を式を使って説明できるようにさせる。		運動している物体について速度とエネルギー量の関係を身近な現象とを結びつけて意欲的に考えようとしている。	運動エネルギーの式を理解し、運動エネルギーと仕事の関係について式の運用が正しくできる。		「運動エネルギーの変化＝された仕事」の右辺の仕事は、仕事をする際の力の種類（保存力か非保存力か）を問わないことを理解し、知識を身につけている。	・ ワークシート等 ・ 前期期末調査
		3 位置エネルギー ・ 高い所にある物体は他の物体に対して仕事をすることから、重力による位置エネルギーをもっていることを理解させる。		位置エネルギーは、運動エネルギーのように動きがあり目立つものではないが、仕事をする能力を「秘めて」いることに興味をもつことができる。	弾性力による位置エネルギー、重力による位置エネルギー、それぞれについて考察し、考えを表現している。			・ ワークシート等 ・ 前期期末調査
		4 力学的エネルギー ・ 重力と弾性力による位置エネルギー、およびその仕事との関係を理解し、力学的エネルギーの保存について、正しく式を使って説明できるようにさせる。		力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り、その法則をいろいろな運動を分析するために意欲的に活用しようとする。		力学的エネルギー保存則を実験から確認し、的確に整理している。	保存力と力学的エネルギー保存則の関係について理解し、知識を身につけている。	・ ワークシート等 ・ 後期中間調査①

「演習物理基礎」 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
6	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	1 熱と熱量 ・温度と熱運動、熱の移動とエネルギーと関連づけて比熱、熱容量を理解し、熱量の保存を説明できるようにさせる。	8	熱・温度・エネルギーの関係について関心を持ち、意欲的に探究している。	温度と熱運動、熱の移動とエネルギーについて考えを表現することができる。		温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解し、知識を身につけている	・ワークシート等 ・後期中間調査②
		2 熱と物質の状態 ・物質の三態や熱膨張を熱運動で捉えて理解させる。		同じ物質でも温度を変えると、固体、液体、気体になる。なぜこのようなことが起こるのかに興味・関心を示している。	物質の三態を熱運動の観点からモデル化して考えを表現できる。		教科書にある融解熱・蒸発熱の表から水の潜熱の大きさに気づき、身近な現象に置き換えて理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②
		3 熱と仕事 ・力学的仕事と内部エネルギーの変化から、熱がエネルギーの一形態であることを説明できるようにさせる。 ・熱力学第一法則を理解させる。		熱力学第一法則について式の運用が正しくできる。		力学的仕事と内部エネルギーの変化から、熱がエネルギーの一形態であることを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②	
		4 不可逆変化と熱機関 ・熱現象における不可逆変化と熱機関の熱効率を理解する。		熱機関が、われわれの生活の中でどのように活用されているか、関心をもっている。		熱機関と熱機関の効率について理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②	
7	第3編 第1章 波の性質	1 波と媒質の運動 ・波源の振動の伝播が波動であることを理解させる。 ・波を表す要素を説明できるようにさせる。 ・縦波と横波を説明できるようにさせる。	8	波とは何か、媒質と波の伝播について興味を持ち、調べようとする。	波形の移動における周波数や位相について説明することができる。媒質の振動を関連づけて考え、表現することができる。		縦波と横波の違いを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期期末調査
		2 重ね合わせの原理 ・波の重ね合わせの現象・独立性・干渉の現象を観察し、その性質を理解させる。 ・波の反射の種類と定常波を理解させる。 【発展】波の干渉、屈折、反射、回折を理解させる。		2つの波の独立性や重ね合わせの原理と定常波を関連づけて考え、表現することができる。	波動に由来する現象を観察・実験を通して分析し、論理的に考察観察し、的確に整理している。	波の性質と媒質の端の違いによる反射波の性質を理解している。	・ワークシート等 ・前期期末調査	



# 令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習物理基礎	普通科	3年（後期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「演習物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法						
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解							
10	第1編	総合的な問題演習		2 物体の運動を相対速度の関係を用いて説明しようとし、意欲的に探求しようとする。	速度の意味・考え方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを理解し、表現することができる。	物体の運動を測定し、グラフで表すことができる。	グラフを見て物体の運動の様子を理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査①						
	運動とエネルギー													
	第1章													
	運動の表し方													
									1 速度	・速さと速度、平均の速さと瞬間の速さ、相対速度について理解させる。 【発展】平面上の速度、相対速度を理解させる。				
									2 加速度	・直線運動における加速度の定義を理解させる。				
									3 落体の運動	落体の運動を学ぶ意義を感じ、意欲的に探求しようとする。 ・落体の運動は、加速度の大きさ $g$ の等加速度直線運動であること、放物運動は、水平方向の等速直線運動と、鉛直方向の等加速度直線運動とに分解して扱えることを理解させる。 【発展】水平投射・斜方投射の式を理解させる。	放物運動を2方向の運動に分解して式の運用ができる。	自由落下、鉛直投射を等加速度直線運動として捉え、理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査①	
	第2章								1 力とのはたらき	力のはたらき・性質と運動との関係について、日常に見られる様々な運動等を通して関心を持ち、科学的に探究しようとする。	日常に見られる運動を通して物体にはたらく力を見いだした自らの考えを的確に表現できる。			・ワークシート等 ・後期中間調査①
	運動の法則								2 力のつりあい	・重力・垂直抗力・摩擦力・弾性力など様々な力について理解 ・力の合成・分解、つり合い、作用・反作用の法則について理解する。	重力・垂直抗力・摩擦力・弾性力など様々な力について理解している。	力の合成・分解、つり合い、作用・反作用の法則について作図で示すことができる。	つり合いの2力と作用・反作用を正しく区別できるように理解している。	・ワークシート等 ・後期中間調査①
									3 運動の法則	・運動の3法則を学習し運動方程式によって力と加速度の	「物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるか」の発問に興味・関心を示している。	慣性の法則、運動方程式が理解でき、問題解決にあたって式の運用ができる。	重力による加速度をもつ落下運動について正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査① ・実験レポート

「演習物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
		4 摩擦を受ける運動		静止摩擦と動摩擦の違いに注目し、関心を寄せ、意欲的に探求しようとする。		摩擦力の実験から摩擦係数を確認し、的確に整理している。	摩擦力について理解している。それがはたらくときの物体の運動について正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等
		・静止摩擦と動摩擦の大きさや向きについて学習し、動摩擦を受ける物体の運動を運動方程式で説明できるようにさせる。						・後期中間調査①
		5 液体や気体から受ける力		水中や空気中で圧力があることに関心を寄せ、意欲的に探求しようとする。		空気抵抗を受けながら落下する物体について、その運動の特徴を解析し、的確に整理している。		・ワークシート等
		・流体からの受ける力（圧力・浮力・抵抗力）について学習し、その大きさや向きを説明できるようにさせる。						・後期中間調査①
	第3章	1 仕事		エネルギー概念と仕事について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。	仕事の定義、仕事の原理について考察し、考えを表現している。		仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を理解し、知識を身につけ、活用できる。	・ワークシート等
	仕事と力学的エネルギー	・仕事の定義、仕事の原理、仕事率について理解させる。						・後期中間調査①
		2 運動エネルギー		運動している物体について速度とエネルギー量の関係を生近な現象とを結びつけて意欲的に考えようとしている。	運動エネルギーの式を理解し、運動エネルギーと仕事の関係について式の運用が正しくできる。		「運動エネルギーの変化＝された仕事」の右辺の仕事は、仕事をする際の力の種類（保存力か非保存力か）を問わないことを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等
		・運動エネルギーの式を理解し、運動エネルギーと仕事の関係を式を使って説明できるようにさせる。						・後期中間調査①
		3 位置エネルギー		位置エネルギーは、運動エネルギーのように動きがあり目立つものではないが、仕事をする能力を「秘めて」いることに興味をもつことができる。	弾性力による位置エネルギー、重力による位置エネルギー、それぞれについて考察し、考えを表現している。			・ワークシート等
		・高い所にある物体は他の物体に対して仕事をするところから、重力による位置エネルギーをもっていることを理解させる。						・後期中間調査①
		4 力学的エネルギー		力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り、その法則をいろいろな運動を分析するために意欲的に活用しようとする。		力学的エネルギー保存則を実験から確認し、的確に整理している。	保存力と力学的エネルギー保存則の関係について理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等
		・重力と弾性力による位置エネルギー、およびその仕事との関係を理解し、力学的エネルギーの保存について、正しく式を使って説明できるようにさせる。						・後期中間調査①

「演習物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
11	第2編 熱	1 熱と熱量	35	熱・温度・エネルギーの関係について関心を持ち、意欲的に探究している。	温度と熱運動、熱の移動とエネルギーについて考えを表現することができる。		温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解し、知識を身につけている	・ワークシート等
	第1章	・温度と熱運動、熱の移動とエネルギーと関連づけて比熱、熱容量を理解し、熱量の保存を説明できるようにさせる。						・後期中間調査②
	熱とエネルギー	2 熱と物質の状態		同じ物質でも温度を変えると、固体、液体、気体になる。なぜこのようなことが起こるのかに興味・関心を示している。	物質の三態を熱運動の観点からモデル化して考えを表現できる。		教科書にある融解熱・蒸発熱の表から水の潜熱の大きさに気づき、身近な現象に置き換えて理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②
		3 熱と仕事			熱力学第一法則について式の運用が正しくできる。		力学的仕事と内部エネルギーの変化から、熱がエネルギーの一形態であることを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②
		4 不可逆変化と熱機関		熱機関が、われわれの生活の中でどのように活用されているか、関心をもっている。			熱機関と熱機関の効率について理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②
	第3編	1 波と媒質の運動		波とは何か、媒質と波の伝播について興味を持ち、調べようとする。	波形の移動における周波数や位相について説明することができ、媒質の振動を関連づけて考え、表現することができる。		縦波と横波の違いを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②
	第1章 波の性質	・波源の振動の伝播が波動であることを理解させる。 ・波を表す要素を説明できるようにさせる。 ・縦波と横波を説明できるようにさせる。		2 重ね合わせの原理	2つの波の独立性や重ね合わせの原理と定常波を関連づけて考え、表現することができる。	波動に由来する現象を観察・実験を通して分析し、論理的に考察観察し、的確に整理している。	波の性質と媒質の端の違いによる反射波の性質を理解している。	・ワークシート等 ・後期中間調査②
		・波の重ね合わせの現象・独立性・干渉の現象を観察し、その性質を理解させる。 ・波の反射の種類と定常波を理解させる。 【発展】波の干渉、屈折、反射、回折を理解させる。						

「演習物理基礎」学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
12 1	第2章 音	1 音の性質 ・音の伝わり方・音の3要素・うなりといった、波の性質について理解させる。		弦楽器や管楽器での音の発生の原理について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。			音が疎密波であることについて理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②
		2 発音体の振動と共振・共鳴 ・弦および気柱の振動条件について学び、定常波の発生や共鳴、共振について理解させる。		弦や気柱に生じる定常波の固有振動数を表す式についての式の運用が正しくできる。	弦や気柱の共鳴実験を観察し、的確に整理している。	弦の振動と気柱の振動などを通して、共鳴・共振のような現象が起こる原理を理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査② ・実験レポート	
	第4編 電気	1 電気の性質 ・静電気の発生、帯電の仕組み、静電誘導、誘電分極について理解させる。 【発展】静電誘導を理解させる。		電気に関わる法則に興味をもち、静電気の原理や、導体・絶縁体・半導体のそれぞれの性質について意欲的に探求しようとする。	帯電の仕組みについて考え、表現することができる。		物体の帯電は、自由電子のやりとりによって生じていることが理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査② ・実験レポート
	第1章 物質と電気抵抗	2 電流と電気抵抗 ・オームの法則、直列・並列接続回路の特徴を理解させる。		オームの法則、直列・並列接続回路の特徴を理解し、式の運用が正しくできる。	電気回路を水流モデル図として作図することができる。		・ワークシート等 ・後期中間調査②	
		3 電気とエネルギー ・ジュール熱発生の仕組みを理解させる。 ・電力や電力量を説明できるようにさせる。		電気エネルギーと力学的エネルギーの関連について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。		電力量と電力の意味（およびその公式）を理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②	
	第2章 交流と電磁波	1 交流 ・交流の発生、交流発電機や変圧器のしくみとはたらきを		家庭用コンセントからくる電気の交流はどのようにして発生するのかということに関心を持ち、意欲的に探求しようとする。	発電所でつくられ利用されている交流の概念と仕組みを考え、表現できる。	交流を遠方の利用者へ送るときに必要な「変圧器」について理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②	
		2 電磁波 ・電磁波の性質や種類、その利用法について理解させる。		電磁波の種類と性質を確認し、電界と磁界の相互の変動が電磁波を伝えることについて考え、表現することができる。		電磁波が日常生活の様々な分野で応用されている例を示して理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間調査②	
		・より難度の高い総合問題を演習する。					・後期中間調査②	

# 令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習化学基礎	普通科文系	3年（前期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 そして、これまでに履修した学習内容を復習し、今日的課題を含んだ発展的な学習内容を含む、科学的な思考力を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら化学的な事物・現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「演習化学基礎」学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	1章 物質の構成 1節 物質の探究	1 物質の種類と性質 ・「序 化学と人間生活」にふれる。 ・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることを理解する。	7	・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることに興味をもつ。	・純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。	・混合物をろ過や蒸留、再結晶、クロマトグラフィーなどにより純物質に分けることができる。	・混合物を分離する操作に、ろ過、蒸留、分留、昇華、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどをあげられる。	ワークシート (小テスト) 前期中間考査①
		2 物質と元素 ・原子と元素の意味や元素という概念を理解する。		・元素の種類やその検出法などについて興味や関心を高める。	・元素の種類やその検出法などについて考察し、元素どうしを比較する。		・原子と元素の考え方を理解する。 ・代表的な成分元素の検出法を理解している。	
		3 物質の三態と熱運動 ・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのか理解する。		・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのかに興味をもつ。	・物質を加熱したり冷却したときの温度変化をグラフに表すことができる。		・絶対温度とセルシウス温度の関係を理解している。	
	2節 物質の構成粒子	1 原子の構造 ・原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づく。同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることを理解する。		・原子は粒子から構成されていることに気づき、同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。	・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。		・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。	
		2 イオンの生成 ・陽イオン・陰イオンの生成のしくみについて理解する。		・物質がイオンの粒子からも成り立つ場合があることに興味をもつ。	・イオンの生成を電子配置と関連づけて考え、説明することができる。	・「ナトリウムの反応」において、元素の性質と電子配置について考えることができる。	・物質が原子、分子、イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解し、それらの基本的な概念や知識を身につけている。	
		3 周期表 ・周期表上の元素の配列のしかたについて理解する。		・周期表上の元素の配列のしかたについて興味をもつ。	・周期表の中に周期律が見いだせることや、周期律は価電子の数の周期的な変化によることなどに気づく。		・元素の、典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布、および同族元素について理解している。	
5	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合	1 イオン結合 ・原子とイオンの違いについて理解する。	・化学結合の種類や特徴について興味や関心を高める。	・化学結合が生じる理由について考察し、物質の性質と関連づける。		・イオン化エネルギーの概念と周期表上での傾向を説明できる。		
		2 イオン結晶 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質について理解する。	・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。	・イオンからなる物質は分子をつくらないため、分子式ではなく組成式で表すことに気づく。	・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。	・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式の組み立て方を理解している。		
	2節 共有結合と分子間力	1 共有結合と分子間力 ・分子結晶について、構造や性質を理解する。	・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。	・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。		・極性という、電気陰性度の違いによる電荷のかたよりを分子の形から理解している。		
		2 共有結合からなる物質 ・共有結合の結晶について、構造や性質を理解する。	・分子からなる物質の性質に興味をもつ。	・価標を考えることによって、分子の構造を予想することができる。	・分子の中の原子どうしの結合を、模型などを用いて表すことができる。	・さまざまな分子を電子式、構造式で表し、その構造を考えることができる。		
	3節 金属結合	1 金属結合 ・金属特有の性質を理解する。	・身のまわりの金属の性質に興味をもつ。	・金属特有の性質は、金属結合が自由電子によるものであることが原因であることに気づく。		・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように、組成式で表されることを理解している。		
		2 金属 ・金属の結晶の特徴を理解する。	・金属に共通する性質について、興味をもつ。	・金属の特徴についてモデルをもとに考察する。		・金属の特徴を3点挙げるができる。		
	4節 化学結合と物質	1 結晶の分類 ・それぞれの化学結合によってできた結晶について、その性質や構成粒子などを比較し、理解する。	・それぞれの化学結合について、特徴を理解し、その結晶の差異について興味や関心を高める。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を説明し、それがどのような理由によるものが推論することができる。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を調べることができる。	・それぞれの結合から成る物質の特徴と性質を理解している。		
		2 化学結合と身のまわりの物質 ・それぞれの化学結合でできた代表的な物質について理解する。	・身近な物質が、それぞれの結晶のからできていることに気づく。	・身近な物質が、それぞれの結晶の性質を踏まえて利用されていることについて気づく。	・身近な気体の性質や利用用途などについて調べることができる。	・身近な物質がもつ性質やその利用例などを理解している。		
	3章 物質の変化 1節 物質と化学反応式	1 原子量と分子量・式量 ・非常に小さい粒子である原子・分子・イオンの取り扱い方について理解する。	・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子1個がはいかに小さなものであるかを実感する。	・同位体が存在する場合、平均原子量を求めることができる。 ・質量そのものではなく、基準に対する相対質量で表すことを理解している。	・基本的な化学式などを書く技能を習得し、的確に表現できる。	・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子の質量を考えることができる。		

「演習化学基礎」学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
		2 物質質量 ・原子の数え方について理解する。	8	・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。	・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子数、質量、物質質量に関する計算ができる。	・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質質量で表せる。	・気体の場合の1molの体積は共通であることを理解する。	ワークシート (小テスト) 前期中間考査②
		3 溶液の濃度 ・溶解という現象を理解させるとともに、溶液の濃度の表し方について理解する。		・溶解という現象に興味をもつ。	・計算により濃度を求めることができる。	・あるモル濃度の水溶液をメスフラスコなどを使用して調製することができる。	・質量パーセント濃度、モル濃度の意味を理解している。	
		4 化学反応式 ・多くの化学変化は化学反応式であらわされることを理解させ、化学反応式をもとに量的な関係をつかむ。 ・基本法則の発見が化学の進歩に果たした役割を理解する。		・化学反応の表し方について興味関心を高める。 ・基本法則が発見された時代背景に興味をもつ。	・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。 ・基本法則についてモデルを用いて説明することができる。	・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。	・化学反応における、物質質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・質量保存の法則、定比例の法則、ドルトンの原子説、気体反応の法則、アボガドロの分子説を理解している。	
6	2節 酸と塩基	1 酸と塩基 ・酸とは何か、塩基とは何かについて理解する。	8	・酸・塩基について興味や関心を高める。	・酸・塩基の例からその共通性について考察し、他の物質と比較する。また、その量的な関係について考察する。		・酸・塩基の性質と中和反応の意味、量的な関係を理解している。	
		2 水素イオン濃度とpH ・水素イオン濃度の表し方について理解する。		・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。	・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・ある水素イオン濃度における水酸化物イオン濃度を求められる。	・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。	・酸性・塩基性の程度とpHの関係を理解し、pHの指標の便利さと実用性を理解している。	
		3 中和反応と塩 ・中和反応の定義と表し方について理解する。 ・塩の生成と種類、性質について理解する。 ・中和の量的関係とpHの変化について理解する。		・中和反応は本質的にはH <sup>+</sup> とOH <sup>-</sup> の反応であることに気づく。 ・同一の酸と塩基から生成する塩でも、複数の種類の塩が生じることがあることに気づく。 ・市販の食酢の酢酸濃度の求め方に興味を持つ。	・酸・塩基の価数は中和する際の量的関係に重要な要素を占めることに気づく。 ・塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。 ・測定結果をもとに、滴定曲線を表すことができる。	・中和滴定において、メスフラスコ、ビュレット、ホールピペットなどの実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から未知の濃度を実験で求める技能を身につけている。 ・塩の水溶液をつくり、pHメーターなどによりpHを測定することができる。	・中和の量的関係を数値計算により求めることができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 ・酸性塩、塩基性塩、正塩などの分類があることを理解している。 ・実験器具の使い方を理解している。	
7	3節 酸化還元反応	1 酸化と還元 ・酸化と還元の意味を理解する。	12	・酸化還元反応の原理や現象などについて、興味関心を高める。	・酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことに気づく。 ・酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。	・代表的な酸化還元反応を観察し、この反応を酸化還元反応として考えることができる。	・電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。	ワークシート (小テスト) 前期末考査
		2 酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤のはたらき方について理解する。		・酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えると完成させられるようになる。	・酸化還元反応の化学反応式を酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくられるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを読み取ることができる。	・酸化還元滴定の実験により濃度未知の酸化剤や還元剤の濃度を求めることができるとともに、酸化還元反応の進行を色の変化など、実験を通して視覚的に判断できるようになる。	・酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。	
		3 酸化還元反応の起こりやすさ ・金属のイオン化傾向について理解する。		・金属の反応性はイオン化傾向と関連があることに、興味や関心を高める。	・金属の反応性を、イオン化傾向と関連させて考察できるようになる。		・金属の反応性は、イオン化傾向と関連が深いことを理解している。	
	4 身のまわりの酸化還元反応 ・電池、電気分解の原理について理解する。	・電池、電気分解の原理について興味や関心を高める。	・電池、電気分解で起こる反応の原理などについて考察できるようになる。	・簡単な電池をつくることができる。	・基本的な電池の構造と反応を理解する。 ・電気分解の原理を理解する。			

## 令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習化学基礎	普通科	3年（後期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 そして、これまでに履修した学習内容を復習し、今日的課題を含んだ発展的な学習内容を含む、科学的な思考力を育成する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら化学的な事物・現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化に関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「演習化学基礎」学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	1章 物質の構成 1節 物質の探究	総合的な問題演習	1 物質の種類と性質 ・「序 化学と人間生活」にふれる。 ・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることを理解する。	35	・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることに興味をもつ。	・純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。	・混合物をろ過や蒸留、再結晶、クロマトグラフィーなどにより純物質に分けることができる。	・混合物を分離する操作に、ろ過、蒸留、分留、昇華、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどをあげられる。	ワークシート (小テスト) 後期中間考査①
			2 物質と元素 ・原子と元素の意味や元素という概念を理解する。		・元素の種類やその検出法などについて興味や関心を高める。	・元素の種類やその検出法などについて考察し、元素どうしを比較する。		・原子と元素の考え方を理解する。 ・代表的な成分元素の検出法を理解している。	
			3 物質の三態と熱運動 ・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのか理解する。		・物質の三態変化は、構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのかに興味をもつ。	・物質を加熱したり冷却したときの温度変化をグラフに表すことができる。		・絶対温度とセルシウス温度の関係を理解している。	
	2節 物質の構成粒子		1 原子の構造 ・原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づく。同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることを理解する。		・原子は粒子から構成されていることに気づき、同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。	・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。		・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。	
			2 イオンの生成 ・陽イオン・陰イオンの生成のしくみについて理解する。		・物質がイオンの粒子からも成り立つ場合があることに興味をもつ。	・イオンの生成を電子配置と関連づけて考え、説明することができる。	・「ナトリウムの反応」において、元素の性質と電子配置について考えることができる。	・物質が原子、分子、イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解し、それらの基本的な概念や知識を身につけている。	
			3 周期表 ・周期表上の元素の配列のしかたについて理解する。		・周期表上の元素の配列のしかたについて興味をもつ。	・周期表の中に周期律が見いだせることや、周期律は価電子の数の周期的な変化によることなどに気づく。		・元素の、典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布、および同族元素について理解している。	
	2章 物質と化学結合 1節 イオン結合		1 イオン結合 ・原子とイオンの違いについて理解する。		・化学結合の種類や特徴について興味や関心を高める。	・化学結合が生じる理由について考察し、物質の性質と関連づける。		・イオン化エネルギーの概念と周期表上での傾向を説明できる。	
			2 イオン結晶 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質について理解する。		・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。	・イオンからなる物質は分子をつくらないため、分子式ではなく組成式で表すことに気づく。	・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。	・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式の組み立て方を理解している。	
	2節 共有結合と分子間力		1 共有結合と分子間力 ・分子結晶について、構造や性質を理解する。		・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。	・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。		・極性という、電気陰性度の違いによる電荷のかたよりを分子の形から理解している。	
			2 共有結合からなる物質 ・共有結合の結晶について、構造や性質を理解する。		・分子からなる物質の性質に興味をもつ。	・価標を考えることによって、分子の構造を予想することができる。	・分子の中の原子どうしの結合を、模型などを用いて表すことができる。	・さまざまな分子を電子式、構造式で表し、その構造を考えることができる。	
	3節 金属結合		1 金属結合 ・金属特有の性質を理解する。		・身のまわりの金属の性質に興味をもつ。	・金属特有の性質は、金属結合が自由電子によるものであることが原因であることに気づく。		・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように、組成式で表されることを理解している。	
			2 金属 ・金属の結晶の特徴を理解する。		・金属に共通する性質について、興味をもつ。	・金属の特徴についてモデルをもとに考察する。		・金属の特徴を3点挙げることができる。	
	4節 化学結合と物質		1 結晶の分類 ・それぞれの化学結合によってできた結晶について、その性質や構成粒子などを比較し、理解する。		・それぞれの化学結合について、特徴を理解し、その結晶の差異について興味や関心を高める。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を説明し、それがどのような理由によるものが推論することができる。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を調べることができる。	・それぞれの結合から成る物質の特徴と性質を理解している。	
			2 化学結合と身のまわりの物質 ・それぞれの化学結合でできた代表的な物質について理解する。		・身近な物質が、それぞれの結晶のからできていることに気づく。	・身近な物質が、それぞれの結晶の性質を踏まえて利用されていることについて気づく。	・身近な気体の性質や利用用途などについて調べることができる。	・身近な物質がもつ性質やその利用例などを理解している。	
	3章 物質の変化 1節 物質質量と化学反応式		1 原子量と分子量・式量 ・非常に小さい粒子である原子・分子・イオンの取り扱い方について理解する。		・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。 ・原子1個がはいかに小さなものであるかを実感する。	・同位体が存在する場合、平均原子量を求めることができる。 ・質量そのものではなく、基準に対する相対質量で表すことを理解している。	・基本的な化学式などを書く技能を習得し、的確に表現できる。	・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子の質量を考えることができる。	

「演習化学基礎」学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
		2 物質質量 ・原子の数え方について理解する。		・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。	・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子数、質量、物質質量に関する計算ができる。	・実際の物質の1molの量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質質量で表せる。	・気体の場合の1molの体積は共通であることを理解する。	
		3 溶液の濃度 ・溶解という現象を理解させるとともに、溶液の濃度の表し方について理解する。		・溶解という現象に興味をもつ。	・計算により濃度を求めることができる。	・あるモル濃度の水溶液をメスフラスコなどを使用して調製することができる。	・質量パーセント濃度、モル濃度の意味を理解している。	
		4 化学反応式 ・多くの化学変化は化学反応式であらわされることを理解させ、化学反応式をもとに量的な関係をつかむ。 ・基本法則の発見が化学の進歩に果たした役割を理解する。		・化学反応の表し方について興味関心を高める。 ・基本法則が発見された時代背景に興味をもつ。	・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。 ・基本法則についてモデルを用いて説明することができる。	・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。	・化学反応における、物質質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・質量保存の法則、定比例の法則、ドルトンの原子説、気体反応の法則、アボガドロの分子説を理解している。	
2 節 酸と塩基		1 酸と塩基 ・酸とは何か、塩基とは何かについて理解する。		・酸・塩基について興味や関心を高める。	・酸・塩基の例からその共通性について考察し、他の物質と比較する。また、その量的な関係について考察する。		・酸・塩基の性質と中和反応の意味、量的な関係を理解している。	
		2 水素イオン濃度とpH ・水素イオン濃度の表し方について理解する。		・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。	・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・ある水素イオン濃度における水酸化物イオン濃度を求められる。	・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。	・酸性・塩基性の程度とpHの関係を理解し、pHの指標の便利さと実用性を理解している。	
		3 中和反応と塩 ・中和反応の定義と表し方について理解する。 ・塩の生成と種類、性質について理解する。 ・中和の量的関係とpHの変化について理解する。		・中和反応は本質的には $H^+$ と $OH^-$ の反応であることに気づく。 ・同一の酸と塩基から生成する塩でも、複数の種類の塩が生じることがあることに気づく。 ・市販の食酢の酢酸濃度の求め方に興味を持つ。	・酸・塩基の価数は中和する際の量的関係に重要な要素を占めることに気づく。 ・塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。 ・測定結果をもとに、滴定曲線を表すことができる。	・中和滴定において、メスフラスコ、ビュレット、ホールピペットなどの実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から未知の濃度を実験で求める技能を身につけている。 ・塩の水溶液をつくり、pHメーターなどによりpHを測定することができる。	・中和の量的関係を数値計算により求めることができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 ・酸性塩、塩基性塩、正塩などの分類があることを理解している。 ・実験器具の使い方を理解している。	
11	3 節 酸化還元反応	1 酸化と還元 ・酸化と還元の定義を理解する。		・酸化還元反応の原理や現象などについて、興味関心を高める。	・酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことに気づく。 ・酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。	・代表的な酸化還元反応を観察し、この反応を酸化還元反応として考えることができる。	・電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。	ワークシート (小テスト) 後期中間考査②
		2 酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤のはたらき方について理解する。		・酸化還元の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考慮することによって完成させられるようになる。	・酸化還元剤のはたらきを示す反応式からつくられるようになる。 ・酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを読み取ることができる。	・酸化還元滴定の実験により濃度未知の酸化剤や還元剤の濃度を求めることができるとともに、酸化還元反応の進行を色の変化など、実験を通して視覚的に判断できるようになる。	・酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。	
		3 酸化還元反応の起こりやすさ ・金属のイオン化傾向について理解する。		・金属の反応性はイオン化傾向と関連があることに、興味や関心を高める。	・金属の反応性を、イオン化傾向と関連させて考察できるようになる。		・金属の反応性は、イオン化傾向と関連が深いことを理解している。	
		4 身のまわりの酸化還元反応 ・電池、電気分解の原理について理解する。		・電池、電気分解の原理について興味や関心を高める。	・電池、電気分解で起こる反応の原理などについて考察できるようになる。	・簡単な電池をつくることができる。	・基本的な電池の構造と反応を理解する。 ・電気分解の原理を理解する。	
12 1	まとめ	・より難度の高い総合問題を演習する。						

## 令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習生物基礎	普通科文系	3年（前期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的な探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「演習生物基礎」 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的な評価標準			評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	
4	植生の多様性と分布 「地衣類とは」 「身近にみられる遷移」	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニズムを学ぶ。</li> <li>菌類に緑藻類やシアノバクテリアが共生した地衣類の役割を知る。</li> <li>観察地で植物採集をし、遷移の段階、方向、環境要因との関係を学ぶ。</li> <li>湖沼から始まる湿性遷移の場合、どのような経緯で湖沼が陸地化し、乾性遷移に移行するのか、具体例をもとにして理解</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生と生態系に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>植生の遷移に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生と光環境の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>一次遷移と二次遷移の共通点・相違点の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験の過程や結果を的確に記録、整理し、年数変化に伴う植生の遷移について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>地衣類について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>乾性遷移・湿性遷移について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析
4	気候とバイオーム 「気候に適応した植物の生活形」 「富士山でみられる植生」 「日本の草原植生」	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、世界や日本におけるバイオームの分布について学ぶ。</li> <li>植物の生活様式を反映する生活形の意味を知り、各生活形とそれぞれの気候条件の関連性について学ぶ。</li> <li>自分の住む地域の暖かさの指数を求め、バイオームを推測する。</li> <li>富士山の各段階における植生の違いを知り、本州中部のバイオームの垂直分布について学ぶ。</li> <li>熱帯から亜熱帯地域のバイオームであるマングローブ林について学ぶ。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>地衣類について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>乾性遷移・湿性遷移について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオームという概念の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>バイオームの水平分布・垂直分布の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖かさの指数とバイオームとの相関関係について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>気候に適応した植物の生活形について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>日本と世界のバイオームについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析
5	生態系とその保全 「生態系での物質の移動に人間生活が与える影響」 「熱帯多雨林の生物多様性」 「小笠原諸島の外来生物問題」	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解し、生態系の保全について学ぶ。</li> <li>窒素を例にとり、生態系における物質の移動に人間生活がどのような影響を与えているかを知り、いわゆる環境問題とその解決策について学ぶ。</li> <li>アサリが水質浄化を行う過程をデジタルカメラ等で撮影し、ようすを観察する。</li> <li>東南アジア等に分布する熱帯多雨林における生物多様性を知り、気候条件との関係性を考える。</li> <li>外来生物による植生の変化ともたらず問題について考える。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>生態系のバランスや多様性の保全に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の循環における化石燃料の位置づけの中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>地球温暖化・生物種の絶滅・遺伝的攪乱という象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察の過程や結果を的確に記録、整理し、分解者の生態系における役割について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>生態系での物質の移動に人間生活が与える影響について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>生物多様性と外来生物による植生変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析 前期中間調査①問題による理解度・定着度分析
5・6	生物の多様性と共通性 原核生物と真核生物の観察 「身近な原核生物」	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の特徴の1つに挙げられる、多様性と共通性について学ぶ。</li> <li>身のまわりの原核細胞・真核細胞を光学顕微鏡で観察し、スケッチする。</li> <li>多くの生物の細胞には核が含まれているが、核がない生物も身近にいることを知る。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上に存在する多種多様な生物にある共通性に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>細胞の中には多くの細胞小器官が存在し、それらのはたらきに関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の共通性としての細胞のさまざまなはたらきの中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>原核生物と真核生物の共通点・相違点の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原核細胞と真核細胞の観察を通して、細胞の構造上の違いを科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>生物の進化と多様性の関係について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>身近な原核生物について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>原核細胞と真核細胞の構造上の共通点・相違点について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析
6	生命活動とエネルギー 「酵素の性質」 「葉緑体の構造とはたらき」 「ミトコンドリアの構造とはたらき」 「現在もみられる細胞内への共生」	<ul style="list-style-type: none"> <li>酵素の基質特異性や最適温度・最適pHについて学ぶ。</li> <li>葉緑体にはチラコイドとストロマがあり、それぞれが光合成において重要な反応の場となっていることを知る。</li> <li>ミトコンドリアにはマトリックスとクリステがあり、それぞれが細胞呼吸において重要な場となっていることを知る。</li> <li>光合成において有機物であるデンプンが合成されることを、実験を通して学ぶ。</li> <li>「ハテナ」と名付けられた単細胞生物において、細胞内への共生の初期段階の観察ができることを知る。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞内におけるエネルギーが、大腸菌からヒトに至るまで共通にATPによって蓄えられている事実に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>生体内のエネルギー変換の例として光合成と呼吸に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞内のエネルギーと代謝の関係性の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>光合成と呼吸におけるエネルギー転換の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光のエネルギーを用いて有機物がつくられることの確認を通して、光合成によってデンプンなどの有機物がつくられる現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>ATPと酵素について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>葉緑体とミトコンドリアの構造とはたらきについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>現在もみられる細胞内の共生について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析
6・7	遺伝子とそのはたらき 「生物と遺伝子」 「DNAの抽出」 「ヒトゲノムプロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子の本体としてのDNAについて学ぶ。</li> <li>身のまわりの材料のDNA抽出実験を通して生物がDNAをもつことを知る。</li> <li>ヒトのゲノムがどのような方法で解説され、その結果どのような注意点が生じたかを学ぶ。</li> <li>歴史的な研究成果を追いながら、だれのどのような研究により、遺伝子の本体やDNAの構造が解明されたか、それぞれの経緯を理解する。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝情報としてのDNAの構造とはたらきに関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>遺伝子・DNA・ゲノムの関係性に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヌクレオチドの構造と塩基の相補性について、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>DNAの遺伝情報とゲノムの関係性の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりの材料からのDNAの抽出実験を通して、抽出やろ過などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、この方法でDNAが抽出できる原理を科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>ヒトゲノムプロジェクトについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>遺伝物質であるDNAの解明について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析 前期中間調査②問題による理解度・定着度分析

7	<p>遺伝情報の分配体細胞分裂の観察 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>「DNAと染色体」 「分裂する細胞、分裂しない細胞」 「塩基の相補性を利用したDNAの複製」 「生命現象とタンパク質」 「デオキシリボースとリボース」 「3つの塩基の並び方とトリプレット」 「翻訳のしくみ」 「ハエの発生過程とバフ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学ぶ。</li> <li>DNAとヒストンにより構成される染色体の構造について理解する。</li> <li>分裂する細胞としない細胞にはどのような違いがあるか細胞周期をもとにして理解する。</li> <li>核の中で、DNAが塩基の相補性に基づき複製されるしくみを図をもとにして学ぶ。</li> <li>遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。</li> <li>生命現象に関わるいろいろなタンパク質について学ぶ。</li> <li>DNAとRNAをそれぞれ構成するデオキシリボースとリボースの構造について知る。</li> <li>アミノ酸を指定するために4種類の塩基が必要な理由を理解し、トリプレットの種類について学ぶ。</li> <li>mRNAのコドンがリボソームによりアミノ酸に翻訳されるしくみを学ぶ。</li> <li>DNAの転写とハエなどの発生過程でみられるバフの関係性を理解する。</li> <li>細胞周期における各時期に要する時間と観察される数との関係について考察する。</li> <li>体細胞分裂のひとつである卵割の観察を行い、卵割と通常の体細胞分裂の違いについて考察する。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAと染色体の構造的な関係に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>細胞周期とDNAの複製に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>遺伝情報の流れに関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>選ばれた遺伝子の発現に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体細胞による遺伝情報の分配の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>間期に起こる正確なDNAの複製の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>セントラルドグマの中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>バフと遺伝子発現の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>染色体の変化について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> <li>バフが生じる理由について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAと染色体について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>分裂する細胞・分裂しない細胞について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>塩基の相補性を利用したDNAの複製について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>生命現象とタンパク質について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>DNAの成分とトリプレットについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析
10	<p>体内環境</p> <p>「細胞の膜のはたらき」 「酸素のヘモグロビンへの結合」 「血液凝固反応のしくみ」 「腎臓による尿の生成と老廃物の濃縮」</p>	<p>体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などはたらきを学ぶ。</p> <p>◎細胞膜の選択的透過性には、受動輸送と能動輸送があることを学ぶ。</p> <p>・酸素解離曲線の意味と、酸素とヘモグロビンの結合に影響する諸条件について理解し、組織への酸素の受け渡し方について学ぶ。</p> <p>◎血小板と血しょう中に含まれるタンパク質やCa<sup>2+</sup>の相互作用について理解し、凝固が起こるしくみについて学ぶ。</p> <p>・腎臓におけるろ過と再吸収のしくみにより、老廃物は濃縮して尿とし、必要な物質は血液に残すはたらきを理解する。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の進化と体内環境に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>心臓・肝臓・腎臓のそれぞれのはたらきに関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液・組織液・リンパ液の関係性の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>肝臓と腎臓による体液調節の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>血球の構造について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞の膜のはたらきについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>酸素のヘモグロビンへの結合や血液凝固のしくみについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析
9	<p>体内環境の調節</p> <p>「内分泌腺と外分泌腺」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。</li> <li>ホルモンを分泌する内分泌腺と汗や消化液などを分泌する外分泌腺との構造上の違いについて学ぶ。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>自律神経系と内分泌系によるそれぞれの調節に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>自律神経系とホルモンによる協同作業に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交感神経・副交感神経の関係性の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>血糖値調節のしくみの中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験の過程や結果を的確に記録、整理し、アドレナリンによる心拍数変化について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内分泌腺と外分泌腺について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>ホルモンによる調節について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	ワークシートの記述内容の分析
9	<p>3章 免疫</p> <p>「ウイルスの増殖に対する免疫細胞の対応」 「自己と非自己の認識」 「移植された組織に対する免疫反応」 「花粉症のしくみ」 「ABO式血液型と抗原抗体反応」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除するしくみを学ぶ。</li> <li>ウイルスに感染した細胞がナチュラルキラー細胞やキラーT細胞により細胞死に至るしくみを知る。</li> <li>主要組織適合性複合体が自己・非自己の認識に関わる目印としてはたらきを理解する。</li> <li>移植された組織が主要組織適合性複合体により抗原として認識され、拒絶反応が起こるしくみを理解し、免疫抑制についても合わせて学ぶ。</li> <li>花粉に対する抗体によりアレルギー反応が起こるしくみを理解する。</li> <li>ABO式血液型の分類と、異型血液の輸血により凝集反応が引き起こされるしくみを理解する。</li> <li>血液を材料として、塩類濃度の変化が血液に与える影響を調べ、さらに血液凝固や血流の観察を行うことで、体内環境を保つ上で血液が重要な役割を果たしていることを理解する。</li> <li>辛み成分を用いて交感神経のはたらきを高め、その影響を調べることで、自律神経系のはたらきに関する理解を深める。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫ではたらく細胞やシステムに関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> <li>免疫とヒトの健康に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫のシステムの中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> <li>花粉症・AIDSといった現代病の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食作用を中心とする自然免疫について科学的に探究する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウイルスの増殖に対する免疫細胞の対応や自己非自己の認識について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> <li>拒絶反応や花粉症、および血液凝集反応について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</li> </ul>	事前ワークシートの記述内容の分析 前期期末考査問題による理解度・定着度分析

# 令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習生物基礎	普通科	3年（後期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的な探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの課程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「演習生物基礎」 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	生物基礎全範囲	標準問題演習	20	主体的に問題演習に取り組む。	原理・原則に基づいて、探求的な内容の問題に、自ら考え取り組むことができる。	実験の内容を理解し、原理・原則を確かめることができる。	各分野に対する原理・原則を理解することができる。 正誤問題のすべての判断理由を解説することができる。	テストによる評価
11								
12		共通テスト対応入試問題演習	10					
1								
2								

## 令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習地学基礎	普通科文系	3年（前期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
地球科学的な事物・現象に関心や探求心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けているか。	地球科学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。	地球科学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。	地球科学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けているか。

「演習地学基礎」 学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球	1 地球の概観	6	地球の特徴に興味をもち、地球の形と大きさ、地球の内部構造などを調べようとする。	①地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから考えることができる。 ②地球の層構造とその状態について感得することができる。	①地球の断面を縮小してかき、赤道半径と極半径の差や地形の凹凸がどれぐらいの規模にあたるかを調べることができる。【やってみよう】	①地球の形の特徴がわかる。 ②地球の大きさがわかる。	ワークシート 前期中間考査 ①
		2 地球の内部構造			②岩石や金属の密度を測定し、地球内部の物質と比較することができる。	③地球内部の層構造とその状態がわかる。		
	第2章 活動する地球	1 プレートと地球の活動		プレートの分布と運動に伴う大地形の形成について興味をもち、プレート運動に関連する火山活動や地震の発生の仕組みについて調べようとする。	①中央海嶺、海溝、大山脈のような大地形がプレートの運動によって形成されることについて考えることができる。	①地震、火山などの地球の活動や、海溝や海嶺などの大地形がプレート境界とどのような対応関係にあるかを調べることができる。【実習2】	①3種類のプレート境界がわかる。 ②プレート運動による大地形の形成がわかる。	
		2 地震			②地震の発生のしくみをプレートの運動と関連づけて考えることができる。	②衛星画像を使って断層を探すことができる。【やってみよう】	③地震の発生のしくみがわかる。	
		3 火山活動と火成岩の形成			④火山活動をプレートの運動と関連づけて考えることができる。	③火成岩の組織を観察することができる。【やってみよう】	④プレート境界やプレート内部における火山分布や火山活動の特徴がわかる。 ⑤組織と造岩鉱物の組成に基づく火山岩の分類がわかる。	
	5	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方		1 堆積岩とその形成	8	①地表の変化の様子に興味をもち、堆積岩や地層、化石について調べようとする。	①堆積岩がどのように形成されたのかを考えることができる。	
2 地層と地質構造				②地層が形成されるしくみについて考えることができる。 ③褶曲や断層などの地質構造や不整合から、過去の地殻変動について考えることができる。		②地層の露頭を観察し、記録することができる。【実習3】	③地層が形成されるしくみがわかる。 ④地質構造がわかる。	
3 地球の歴史の組み立て				②化石を手がかりにして地球の歴史について考えることができる。		③フズリナの化石を観察することができる。【やってみよう】	③鍵層や化石によって地層の対比ができることがわかる。	
第2章 地球の生命と進化		第1節 先カンブリア時代	①古生物の変遷と地球環境の変化について調べようとする。	①大気と海洋の変化と生命活動との相互のかかわりについて考えることができる。			①地球の誕生から生命の誕生、多細胞生物の出現までの地球の歴史がわかる。	
		第2節 顕生代		②大気の変化と気候の変化、生命活動との相互のかかわりについて考えることができる。			②生物の変遷による地質時代の区分がわかる。	
6		第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	第1節 大気圏			①大気圏の層構造に興味をもち、雲や降水のような対流圏の気象について調べようとする。	①気温や気圧の鉛直方向の変化から、大気圏の層構造について考えることができる。	①各地の観測データから気温と高度の関係を調べることができる。【実習4】
	第2節 水と気象 ・水の循環と対流圏の気象について理解させる。				②水の循環について考えることができる。 ③雲の発生について考えることができる。		②上昇気流によって雲が生じることがわかる。	
	第2章 太陽放射と大気・海洋の運動	第1節 地球のエネルギー収支	①地球全体のエネルギー収支に興味をもち、大気の大循環と海水の運動、およびそれらによる地球規模の熱の輸送について調べようとする。		①地球全体のエネルギー収支について考えることができる。		①地球全体のエネルギー収支が釣り合っていることがわかる。	

第3章 日本で見られる季節の気象	第2節 大気の大循環	8		②緯度によるエネルギー収支の違いについて考えることができる。 ③大気の大循環による熱の輸送について考えることができる。	①日射量の緯度による違いを調べることができる。【実習5】	②緯度によるエネルギー収支の違いがわかる。 ③大気の大循環によって低緯度から高緯度へ熱が運ばれていることがわかる。	
	第3節 海水の循環			④海水の運動による熱の輸送について考えることができる。	②密度差による水の上下運動について調べることができる【やってみよう】	④海洋の層構造がわかる。 ⑤海水の大循環がわかる。	
	第1節 冬から春の気象		①日本で見られる季節の気象について興味をもち、調べようとする。	①日本で見られる冬から春の気象と気圧配置の関係について考えることができる。		①日本で見られる冬から春の気象の特徴がわかる。	
	第2節 夏から秋の気象 ・日本で見られる夏から秋の気象について理解させる。			②日本で見られる夏から秋の気象と気圧配置の関係について考えることができる。	①気象衛星画像を用いて、雲の動きを調べることができる。【やってみよう】	②日本で見られる夏から秋の気象の特徴がわかる。	
第4部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽	第1節 太陽系の天体	10	①太陽系の姿に興味をもち、太陽系の天体の特徴と太陽系の誕生について調べようとする。	①太陽系の各天体の違いについて考えることができる。		①太陽系の姿と惑星や小天体の特徴がわかる。	
	第2節 太陽系の誕生			②太陽系の誕生と惑星の成因について考えることができる。 ③生命を生み出す地球の環境について考えることができる。		②地球型惑星と木星型惑星の成因の違いがわかる。	
	第3節 太陽			④太陽の表面の現象について考えることができる。 ⑤太陽の活動とエネルギー源について考えることができる。	①望遠鏡で太陽像を投影し、太陽表面を観察することができる。【やってみよう】 ②太陽光などのスペクトルを観察することができる。【実習6】	③太陽の表面の現象がわかる。 ④太陽のエネルギー源がわかる。	
第2章 恒星としての太陽の進化	第1節 太陽と恒星	10	①恒星としての太陽に興味をもち、太陽の誕生と進化を調べようとする。	①恒星としての太陽の明るさと色について考えることができる。	①オリオン座の星を観察して、星の明るさの違いを調べることができる。【やってみよう】	①太陽の明るさと色がわかる。	ワークシート 前期期末考査
	第2節 太陽の誕生と進化			②恒星としての太陽の誕生と進化について考えることができる。		②緯度によるエネルギー収支の違いがわかる。 ③太陽の誕生と進化の過程がわかる。	
第3章 銀河系と宇宙	第1節 銀河系とまわりの銀河	10	①銀河について興味をもち、銀河の分布や宇宙の姿について調べようとする。	①銀河系の構造について考えることができる。	①銀河系付近の銀河のデータから、局部銀河群の銀河の分布について調べることができる。【実習7】	①銀河系の構造やほかの銀河の存在がわかる。	
	第2節 宇宙の姿			②膨張する宇宙から宇宙の誕生について考えることができる。		②宇宙の誕生と宇宙の構造がわかる。	
第5部 自然との共生	第1節 地球環境と人類	3	①自然との共生に興味をもち、自然の恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて調べようとする。	①地球環境の変化の時間スケールについて考えることができる。		①人類が自然から受けている恩恵がわかる。	
	第2節 日本の自然災害と防災			②日本で起こる自然災害と防災への取り組みについて考えることができる。	①ハザードマップを使って、防災に役立つ情報を読み取ることができる。【実習8】	②日本で起こる自然災害がわかる。 ③自然の監視と防災がわかる。	
	第3節 人間生活と地球環境の変化			③人間生活が地球規模の環境の変化に及ぼす影響について考えることができる。 ④人間生活が地域的な環境の変化に及ぼす影響について考えることができる。	②オゾンホール面積のデータを使って、オゾンホール面積の経年変化を調べることができる。【実習9】	④地球規模の環境の変化がわかる。 ⑤地域的な環境の変化がわかる。	

令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演習地学基礎	普通科文系	3年（後期）	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
地球科学的な事物・現象に関心や探求心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けているか。	地球科学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。	地球科学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。	地球科学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けているか。

「演習地学基礎」 学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名 単元の目標		学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法	
					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解		
10	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球	総合的な 問題演習	1 地球の概観	6	地球の特徴に興味をもち、地球の形と大きさ、地球の内部構造などを調べようとする。	①地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから考えることができる。 ②地球の層構造とその状態について感得ることができる。	①地球の断面を縮小してかき、赤道半径と極半径の差や地形の凹凸がどれぐらいの規模にあたるかを調べることができる。【やってみよう】	①地球の形の特徴がわかる。 ②地球の大きさがわかる。	ワークシート 前期中間考査 ①	
			2 地球の内部構造				②岩石や金属の密度を測定し、地球内部の物質と比較することができる。	③地球内部の層構造とその状態がわかる。		
			第2章 活動する地球		1 プレートと地球の活動	プレートの分布と運動に伴う大地形の形成について興味をもち、プレート運動に関連する火山活動や地震の発生の仕組みについて調べようとする。	①中央海嶺、海溝、大山脈のような大地形がプレートの運動によって形成されることについて考えることができる。	①地震、火山などの地球の活動や、海溝や海嶺などの大地形がプレート境界とどのような対応関係にあるかを調べることができる。【実習2】		①3種類のプレート境界がわかる。 ②プレート運動による大地形の形成がわかる。
					2 地震		②地震の発生のしくみをプレートの運動と関連づけて考えることができる。	②衛星画像を使って断層を探すことができる。【やってみよう】		③地震の発生のしくみがわかる。
					3 火山活動と火成岩の形成		④火山活動をプレートの運動と関連づけて考えることができる。	③火成岩の組織を観察することができる。【やってみよう】		④プレート境界やプレート内部における火山分布や火山活動の特徴がわかる。 ⑤組織と造岩鉱物の組成に基づく火山岩の分類がわかる。
	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方		1 堆積岩とその形成	8	①地表の変化の様子に興味をもち、堆積岩や地層、化石について調べようとする。	①堆積岩がどのように形成されたのかを考えることができる。	①堆積岩を観察し、粒子の種類や大きさを調べることができる。【やってみよう】	①堆積岩の形成過程がわかる。 ②堆積岩の分類がわかる。		
			2 地層と地質構造			②地層が形成されるしくみについて考えることができる。 ③褶曲や断層などの地質構造や不整合から、過去の地殻変動について考えることができる。	②地層の露頭を観察し、記録することができる。【実習3】	③地層が形成されるしくみがわかる。 ④地質構造がわかる。		
			3 地球の歴史の組み立て			②化石を手がかりにして地球の歴史について考えることができる。	③フズリナの化石を観察することができる。【やってみよう】	③鍵層や化石によって地層の対比ができることがわかる。		
			第2章 地球の生命と進化		第1節 先カンブリア時代	①古生物の変遷と地球環境の変化について調べようとする。	①大気と海洋の変化と生命活動との相互のかかわりについて考えることができる。			①地球の誕生から生命の誕生、多細胞生物の出現までの地球の歴史がわかる。
					第2節 顕生代		②大気の変化と気候の変化、生命活動との相互のかかわりについて考えることができる。			②生物の変遷による地質時代の区分がわかる。
11	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	第1節 大気圏		①大気圏の層構造に興味をもち、雲や降水のような対流圏の気象について調べようとする	①気温や気圧の鉛直方向の変化から、大気圏の層構造について考えることができる。	①各地の観測データから気温と高度の関係を調べることができる。【実習4】	①大気圏の組成と大気圏の層構造がわかる。	ワークシート 前期中間考査 ②		
		第2節 水と気象 ・水の循環と対流圏の気象について理解させる。			②水の循環について考えることができる。 ③雲の発生について考えることができる。		②上昇気流によって雲が生じることがわかる。			
	第2章 太陽放射と大気・海洋の運動	第1節 地球のエネルギー収支		①地球全体のエネルギー収支に興味をもち、大気の大循環と海水の運動、およびそれらによる地球規模の熱の輸送について調べようとする。	①地球全体のエネルギー収支について考えることができる。		①地球全体のエネルギー収支が合っていることがわかる。			

第3章 日本で見られる季節の気象	第2節 大気の大循環	8		②緯度によるエネルギー収支の違いについて考えることができる。 ③大気の大循環による熱の輸送について考えることができる。	①日射量の緯度による違いを調べることができる。【実習5】	②緯度によるエネルギー収支の違いがわかる。 ③大気の大循環によって低緯度から高緯度へ熱が運ばれていることがわかる。			
	第3節 海水の循環			④海水の運動による熱の輸送について考えることができる。	②密度差による水の上下運動について調べることができる【やってみよう】	④海洋の層構造がわかる。 ⑤海水の大循環がわかる。			
	第1節 冬から春の気象			①日本で見られる季節の気象について興味をもち、調べようとする。	①日本で見られる冬から春の気象と気圧配置の関係について考えることができる。		①日本で見られる冬から春の気象の特徴がわかる。		
	第2節 夏から秋の気象 ・日本で見られる夏から秋の気象について理解させる。				②日本で見られる夏から秋の気象と気圧配置の関係について考えることができる。	①気象衛星画像を用いて、雲の動きを調べることができる。【やってみよう】	②日本で見られる夏から秋の気象の特徴がわかる。		
第4部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽	第1節 太陽系の天体	10	①太陽系の姿に興味をもち、太陽系の天体の特徴と太陽系の誕生について調べようとする。	①太陽系の各天体の違いについて考えることができる。		①太陽系の姿と惑星や小天体の特徴がわかる。			
	第2節 太陽系の誕生			②太陽系の誕生と惑星の成因について考えることができる。 ③生命を生み出す地球の環境について考えることができる。		②地球型惑星と木星型惑星の成因の違いがわかる。			
	第3節 太陽			④太陽の表面の現象について考えることができる。 ⑤太陽の活動とエネルギー源について考えることができる。	①望遠鏡で太陽像を投影し、太陽表面を観察することができる。【やってみよう】 ②太陽光などのスペクトルを観察することができる。【実習6】	③太陽の表面の現象がわかる。 ④太陽のエネルギー源がわかる。			
	第2章 恒星としての太陽の進化		第1節 太陽と恒星		①恒星としての太陽に興味をもち、太陽の誕生と進化を調べようとする。	①恒星としての太陽の明るさと色について考えることができる。	①オリオン座の星を観察して、星の明るさの違いを調べることができる。【やってみよう】	①太陽の明るさと色がわかる。	ワークシート 前期期末考査
			第2節 太陽の誕生と進化			②恒星としての太陽の誕生と進化について考えることができる。		②緯度によるエネルギー収支の違いがわかる。 ③太陽の誕生と進化の過程がわかる。	
	第3章 銀河系と宇宙		第1節 銀河系とまわりの銀河		①銀河について興味をもち、銀河の分布や宇宙の姿について調べようとする。	①銀河系の構造について考えることができる。	①銀河系付近の銀河のデータから、局部銀河群の銀河の分布について調べることができる。【実習7】	①銀河系の構造やほかの銀河の存在がわかる。	
			第2節 宇宙の姿			②膨張する宇宙から宇宙の誕生について考えることができる。		②宇宙の誕生と宇宙の構造がわかる。	
第5部 自然との共生	第1節 地球環境と人類	3	①自然との共生に興味をもち、自然の恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて調べようとする。	①地球環境の変化の時間スケールについて考えることができる。		①人類が自然から受けている恩恵がわかる。			
	第2節 日本の自然災害と防災			②日本で起こる自然災害と防災への取り組みについて考えることができる。	①ハザードマップを使って、防災に役立つ情報を読み取ることができる。【実習8】	②日本で起こる自然災害がわかる。 ③自然の監視と防災がわかる。			
	第3節 人間生活と地球環境の変化			③人間生活が地球規模の環境の変化に及ぼす影響について考えることができる。 ④人間生活が地域的な環境の変化に及ぼす影響について考えることができる。	②オゾンホール面積のデータを使って、オゾンホール面積の経年変化を調べることができる。【実習9】	④地球規模の環境の変化がわかる。 ⑤地域的な環境の変化がわかる。			

# 令和3年度 保健体育科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
体育	普通科	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		ステップアップ高校スポーツ（大修館）	

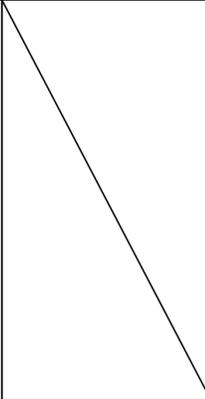
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方。課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

「体 育」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第3学年

実施月	領域記号	領域の時数	領域名 領域の内容 【学習指導要領の内容】	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
					関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
4 10	A	12	<p>「A 体づくり運動」</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと。</p> <p>イ 体力を高める運動では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>(2) 体づくり運動に主体的に取り組むと体力などの違いに配慮しようとする。また、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。更に合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーキットトレーニング</li> <li>ウエイトトレーニング</li> <li>有酸素運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生活に役立てることができるよう、体力を高める運動の必要性を意識して学習に取り組もうとしている。</li> <li>仲間と協力したり、励まし合ったりしながら運動に取り組もうとしている。</li> <li>自分の体の調子を確かめたり、場所や用具の安全を確かめたりするなど、健康・安全に留意しようとしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>体力を高める運動の目的に合った運動の組み立て方、活用の仕方を理解し、実生活への取り入れ方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>仲間との協力状態</li> <li>チェックテスト</li> </ul>	<p>○体育委員は以下の仕事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。</li> <li>①活動場所</li> <li>②必要な用具の準備</li> <li>③貴重品の管理</li> </ul> <p>・授業時に行うこと</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①整列</li> <li>②挨拶</li> <li>③準備体操 (補強運動の指示)</li> </ol> <p>○服装について 学校指定の体操服を着用すること (原則)</p> <p>[冬季服装期間] 4～5月前期中間考査①前</p> <p>10月～3月</p> <p>[夏季服装期間] 5月前期中間考査①後～10月まで</p> <p>※気温により期間が変わることがある。</p> <p>○更衣場所 (原則) 男子・・・教室 女子・・・第1体育館及び第2体女子更衣室</p>
	B	0	<p>「B 器械運動」</p> <p>(1) 次の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技できるようにする。</p> <p>ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>イ 鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>ウ 平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>エ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと。</p> <p>(2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>							
	C	0	<p>「C 陸上競技」</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。</p> <p>ア 競争 短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ること、長距離走では、ペースの変化に対応するなどして走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すこと。</p> <p>イ 跳躍 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きをなめらかにして跳ぶこと、走り高跳びでは、スピードのあるリズムカルな助走から力強く踏み切り、滑らかな空間動作で跳ぶこと、三段跳びでは、短い助走からリズムカルに連続して跳ぶこと。</p> <p>ウ 投てき 砲丸投げでは立ち投げなどから包含を突き出して投げること、やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げること。</p> <p>(2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>							

		D	0	<p>「D 水泳」</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。</p> <p>ア クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>イ 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>ウ 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>エ バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>オ 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすること。</p> <p>(2) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の中間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>						
4 5 6 9 10 11 12 1 2 3		E	78	<p>「E 球技」</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。</p> <p>ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と、スペースを埋めるなど、連携した動きにより、攻守の目まぐるしいゲームの展開ができるようにする。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作、連携した動きによって空間を作り出すなど、攻防が展開できるようにする。</p> <p>ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作手と走塁での判断、安定したボール操作と状況に応じた守備などにより、攻防が展開できるようにする。</p> <p>(2) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。また合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>○サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能</li> <li>キック パス トラップ ドリブル ボールコントロール</li> <li>グループ戦術 5対5 ポジショニング</li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul> <p>○バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能</li> <li>パス ドリブル シュート</li> <li>グループ戦術</li> <li>オフェンス ディフェンス マンツーマン</li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul> <p>○バレーボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能</li> <li>パス サーブ レシーブ トス アタック</li> <li>グループ戦術</li> <li>ポジショニング</li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul> <p>○バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能</li> <li>ストローク サービス</li> <li>ダブルス</li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul> <p>○ソフトボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能</li> <li>グループ戦術</li> <li>連係プレイ</li> <li>簡易ゲーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>役割を積極的に引き受け、自己の責任を晴らそうとしている。</li> <li>合意形成に貢献している。</li> <li>互いに助け合い高めあおうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。</li> <li>チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。</li> <li>健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> <li>球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール型では、空間への侵入などから攻防を展開するため、状況に応じたボール操作や空間を埋める動きなどができる。</li> <li>ネット型では、空間を作り出すなどの攻防を展開するため、状況に応じたボール操作や安定した用具の扱い方と仲間との連携した動きができる。</li> <li>ベースボール型では、攻防を展開するため、状況に応じたバット操作と走塁での判断、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術や作戦などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>球技に関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>競技会の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>審判の方法について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト (口答)</li> </ul>
1 2 3		F	9	<p>「F 武道」</p> <p>(1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防で展開ができるようにする。</p> <p>ア 柔道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて素早く相手を崩して投げたり、抑えたり返したりするなどの攻防が展開できるようにする。</p> <p>イ 剣道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防が展開できるようにする。</p> <p>(2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする。また、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や中間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>○柔道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受け身、投げ技、固め技練習</li> <li>連続技練習</li> <li>試合形式練習</li> <li>審判法</li> </ul> <p>○剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本打突</li> <li>試合形式練習</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>互いに助け合い高めあおうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を踏まえて、自己や中間の課題を設定している。</li> <li>練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。</li> <li>武道を生涯にわたって楽しむための自己や仲間に適した関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔道では、素早く相手を崩して投げたり抑えたり、返したりするなどの攻防を展開するため、相手の多様な動きに応じた基本動作から得意技・変化技のいずれかができる。</li> <li>剣道では、相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防を展開するため、相手の多様な動きに応じた基本動作から得意技ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>武道の伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>技の名称や見取り稽古の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>武道に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>試合の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>審判の方法について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト (口答)</li> </ul>

1 2 3	G	9 「G ダンス」 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 ア 創作ダンスでは、表現したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができるようにする。 イ フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊る。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、全身でリズムの特徴を強調して自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊る。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができるようにする。また合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスウォーミングアップ</li> <li>・現代的なリズムのダンス</li> <li>・即興表現</li> <li>・フォークダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・互いに共感し高め合おうとしている。</li> <li>・役割を積極的に引き受け、自己の責任を晴らそうとしている。</li> <li>・合意形成に貢献している。</li> <li>・互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>・健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を踏まえて、目標に応じたグループや自己の課題を設定している。</li> <li>・仲間との交流や発表後の話し合いの場面では、互いの違いや良さを指摘し、合意形成するための調整の仕方を見付けている。</li> <li>・練習、交流や発表の場面で、健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいく。</li> <li>・ダンスを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作ダンスでは、表現したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的表現をしたり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊るための動きができる。</li> <li>・フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で、仲間と対応して踊るための動きができる。</li> <li>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊るための動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの名称や用語について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・文化的背景と表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・ダンスに関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・交流や発表の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>・鑑賞の仕方について、学習した具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業に取り組む態度</li> <li>・演技構成表</li> <li>・演技発表内容</li> <li>・仲間との協力状況</li> </ul>
7	H	6 「H 体育理論」 (3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。 ア スポーツは、各ライフステージにおける身体的・心理的・社会的特徴に応じた楽しみ方があることや、その楽しみ方は個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することが理解できるようにする。 イ 生涯にわたるスポーツを継続するためには、自己に適した運動機会を持つことやライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方が必要であることを理解できるようにする。 ウ スポーツの振興には、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを理解できるようにする。 エ スポーツを行う際は、スポーツが環境にもたらす影響を考慮し、持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解できるようにする。	<p>クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・スポーツ振興のための施策と諸条件について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>・スポーツと環境について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業への取り組み態度</li> <li>・提出物</li> <li>・筆記試験</li> </ul>

「体 育」 指導と評価の年間計画

(年間指導時数 105時間)

学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第3学年

単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
			関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
体づくり	実生活に役立てることができるよう、健康の保持増進や体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーキットトレーニング</li> <li>ウエイトトレーニング</li> <li>有酸素運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生活に役立てることができるよう、体力を高める運動の必要性を意識して学習に取り組もうとしている。</li> <li>仲間と協力したり、励まし合ったりしながら運動に取り組もうとしている。</li> <li>自分の体の調子を確認めたり、場所や用具の安全を確認めたりするなど、健康・安全に留意しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体力のレベルや健康状態をもとに課題を設定している。</li> <li>効率性を考えて運動の内容を選んだり構成したりして運動に取り組んでいる。</li> <li>体づくり運動を生涯にわたって楽しむために、実生活で継続しやすい自己に適した行い方を見付けている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>体力を高める運動の目的に合った運動の組み立て方、活用の仕方を理解し、実生活への取り入れ方について、理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>仲間との協力状況</li> <li>チェックテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育委員は以下の仕事を行う。</li> <li>・授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。</li> <li>①活動場所</li> <li>②必要な用具の準備</li> <li>③貴重品の管理</li> <li>・授業時に行うこと</li> <li>①整列</li> <li>②挨拶</li> <li>③準備体操 (補強運動の指示)</li> </ul>
ダンス	フォークダンスや現代的なリズムのダンスを仲間と対応して踊ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスウォーミングアップ</li> <li>現代的なリズムのダンス</li> <li>即興表現</li> <li>フォークダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダンスの楽しさや喜びを深く味わいながら学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>互いに共感し高め合おうとしている。</li> <li>互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間との交流や発表後の話し合いの場面では、互いの違いや良さを指摘し、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。</li> <li>ダンスを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊るための動きができる。</li> <li>現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊るための動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化的背景と表現の仕方について理解しながら作品鑑賞ができ、実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>演技構成表</li> <li>演技発表内容</li> <li>仲間との協力状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服装について学校指定の体操服を着用すること (原則)</li> <li>[冬季服装期間] 4～5月前期中間考査 ①前 10月～3月</li> <li>[夏季服装期間] 5月前期中間考査 ①後 ～10月まで</li> <li>※気温により期間が変わることがある。</li> <li>○更衣場所(原則) 男子ー教室 女子ー第1体育館及び 第2体女子更衣室</li> </ul>
柔道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連続技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防が展開できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け身、投げ技、固め技練習</li> <li>連続技練習</li> <li>試合形式練習</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔道の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>互いに助け合い高めあおうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。</li> <li>柔道を生涯にわたって楽しむための自己や仲間に適した関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔道では、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防を展開するための相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技・変化技のいずれかができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔道の伝統的な考え方や技の名称や見取り稽古の仕方について、理解している。</li> <li>試合の仕方や、審判の方法について知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト(口答)</li> </ul>	
剣道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防が展開できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本打突</li> <li>試合形式練習</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣道の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。</li> <li>互いに助け合い高めあおうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習や試合の場面で自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。</li> <li>剣道を生涯にわたって楽しむための自己や仲間に適した関わり方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣道では、相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防を展開するための相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣道の伝統的な考え方や技の名称や見取り稽古の仕方について、理解している。</li> <li>試合の仕方や、審判の方法について知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト(口答)</li> </ul>	
サッカー	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入をするなど、攻防が展開するゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能 キック パス トラップ ドリブル ボールコントロール</li> <li>グループ戦術 5対5 ポジショニング</li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>合意形成に貢献している。</li> <li>互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。</li> <li>健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> <li>サッカーを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防を展開するために状況に応じたボール操作と空間を埋めたり空間に侵入したりする動きができる。</li> <li>ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカーに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。</li> <li>実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト(口答)</li> </ul>	

バスケットボール	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入をするなど、攻防が展開するゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>パス ドリブル シュート</li> </ul> </li> <li>グループ戦術 <ul style="list-style-type: none"> <li>オフェンス</li> <li>ディフェンス</li> <li>マンツーマン</li> </ul> </li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケットボールの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>合意形成に貢献している。</li> <li>互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。</li> <li>健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> <li>バスケットボールを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防を展開するために状況に応じたボール操作と空間を埋めたり空間に侵入したりする動きができる。</li> <li>ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスケットボールに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。</li> <li>実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト (口答)</li> </ul>
バレーボール	状況に応じたボール操作と連携した動きによって空間を作り出すなど、攻防が展開したゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>パス (個人・対人)</li> <li>サーブ</li> <li>レシーブ</li> <li>トス</li> <li>アタック</li> </ul> </li> <li>グループ戦術 <ul style="list-style-type: none"> <li>ポジショニング</li> </ul> </li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボールの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>合意形成に貢献している。</li> <li>互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。</li> <li>健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> <li>バレーボールを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防を展開するための状況に応じたボール操作や連携した動きができる。</li> <li>ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バレーボールに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。</li> <li>実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト (口答)</li> </ul>
バドミントン	安定したラケット操作と状況に応じた技能や作戦によって空間を作り出すなど、攻防が展開したゲームができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>ストローク <ul style="list-style-type: none"> <li>オーバーヘッド</li> <li>サイドアーム</li> <li>アンダーハンド</li> </ul> </li> <li>サービス <ul style="list-style-type: none"> <li>ロングサービス</li> <li>ショートサービス</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>ダブルス</li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バドミントンの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>合意形成に貢献している。</li> <li>互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。</li> <li>健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> <li>バドミントンを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>攻防を展開するための状況に応じたラケット操作と安定した動きができる。</li> <li>ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バドミントンに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。</li> <li>実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト (口答)</li> </ul>
ソフトボール	状況に応じたバット操作と走塁での判断や、安定したボール操作と状況に応じた守備などによってゲームを展開し進めていくことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人的技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>打撃</li> <li>守備</li> </ul> </li> <li>グループ戦術 <ul style="list-style-type: none"> <li>連携プレイ</li> </ul> </li> <li>簡易ゲーム</li> <li>審判法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボールの楽しさや喜びを深く味わいながら、学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>合意形成に貢献している。</li> <li>互いに助け合い高め合おうとしている。</li> <li>健康・安全を確保している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を踏まえて、チームや自己の課題を設定し、作戦や有効な練習方法の選択について工夫している。</li> <li>健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。</li> <li>ソフトボールを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり合い方を見付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じたバット操作と走塁での状況判断、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。</li> <li>ゲームを展開するための作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボールに関連した技能や体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>試合の仕方や観戦の仕方、審判の方法について知っている。</li> <li>実生活への取り入れ方について具体例を挙げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>実技テスト</li> <li>ルールテスト (口答)</li> </ul>
体育理論	豊かなスポーツライフの仕方について理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラス単位の講義形式</li> <li>プリント学習</li> <li>視聴覚教材の使用</li> <li>ディスカッション</li> <li>グループ学習 調べ学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、事例などを用いたディスカッションや課題学習などの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>スポーツ振興のための施策と諸条件について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>スポーツと環境について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業に取り組む態度</li> <li>筆記試験</li> </ul>

# 令和3年度 芸術（音楽）科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
音楽通論	普通科文系	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
評価の観点および評価規準			
音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの様子を観察する。</li> <li>・ワークシートに記入した内容で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの様子を観察する。</li> <li>・ワークシートに記入した内容で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏に対する取り組みの様子を観察する。</li> <li>・演奏の聴取（練習、発表、実技試験）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知覚、感受したことを言葉で批評する内容を確認する。</li> <li>・ワークシートに記入した内容で確認する。</li> </ul>

実施月	題材の 時数	題材名	題材の目標	主な指導内容	学習指導要領				題材の評価規準 と 評価方法				
					表現			鑑賞	音楽を形づくっている要素	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
					歌唱	器楽	創作						
4・5・6・7	50	言葉と表現 (歌唱)	発声の基本を確認し、いろいろな歌唱曲に親しみながら、音楽表現の工夫をする。また、その音楽表現に必要な技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の基礎理論を理解する。</li> <li>・姿勢や呼吸法、発声法に気を付け、歌詞に込められた思いを感じ取ったり、楽曲の特徴を感じ取ったりして、イメージをもって歌う。</li> <li>・原語の語感を生かし、楽曲にふさわしい表現を追求する。</li> <li>・多様な表現形態による歌唱をする。</li> </ul>	アイ ウ エ				<ul style="list-style-type: none"> <li>①曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心を持ち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</li> <li>②曲種に応じた発声の特徴に関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</li> <li>③様々な表現形態による歌唱の特徴に関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音楽表現を工夫し、どのように創造的に歌うかについて表現意図をもってしている。【観察・発表・ワークシート】</li> <li>②音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に歌うかについて表現意図をもってしている。【観察・発表・ワークシート】</li> <li>③音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもってしている。【観察・発表・ワークシート】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</li> <li>②曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</li> <li>③様々な演奏形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</li> </ul>		
9	10	様々な表現 (鑑賞)	それぞれの音楽の特徴を理解して、それらの文化的・歴史的背景に関心をもって鑑賞し、作品のよさやおもしろさ、価値について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の背景にあるエピソードや作曲者の思いが作品の音楽構造や曲想にどのように反映しているのかについて理解を深めて鑑賞する。</li> <li>・日本や郷土の音楽を鑑賞することにより、特徴を理解する。</li> </ul>	アイ ウ エ				<ul style="list-style-type: none"> <li>①声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・発表・ワークシート】</li> <li>②楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・発表・ワークシート】</li> <li>③我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・発表・ワークシート】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・発表・ワークシート】</li> <li>②音楽を形づくっている要素とそれらの働き、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・発表・ワークシート】</li> <li>③音楽を形づくっている要素とそれらの働き、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・発表・ワークシート】</li> </ul>		

10 ・ 11 ・ 12	25	楽器の演奏 (器楽)	楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して、表現を工夫する。また、その音楽表現に必要な技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもって演奏する。</li> <li>・多様な表現形態による演奏をする。</li> </ul>		アイウエ		音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成	<p>①曲想と楽曲の背景とのかかわりに関心を持ち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p> <p>②楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p> <p>③様々な表現形態による器楽の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>②音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>③音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、様々な表現形態による器楽の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p>	<p>①曲想を楽曲の背景とかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</p> <p>②楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</p> <p>③様々な表現形態による器楽の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</p>	
1 ・ 2 ・ 3	20	音楽の要素と組立 (創作)	構成を工夫して創作したり、音階の働きやそれぞれの音階がもつ特徴を理解して旋律をつくり、伴奏や副次的な旋律、和音を付けたりしながら、イメージをもって音楽をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって創作する。</li> <li>・音階の特徴を生かした旋律をつくる。</li> <li>・コードネームとその進行を理解し、和音を付ける。</li> </ul>		アイエ		音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成	<p>①音階、旋律、副次的な旋律や和音などに関心を持ち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p> <p>②音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心を持ち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音楽の特徴を生かして旋律をつくったり、その旋律に音の組み合わせ方を考えて副次的な旋律や和音などを付けたったりし、表現したい音楽をイメージして音楽表現を工夫し、どのように創造的に音楽をつくるかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>②音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音素材の特徴を生かして、反復、変化、対照などの構成を考え、表現したい音楽をイメージして音楽表現を工夫し、どのように創造的に音楽をつくるかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p>	<p>①音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けるために必要な創作の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>②音素材の特徴、反復、対照などの構成を工夫した音楽表現をするために必要な創作の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・発表・ワークシート】</p>	

# 令和3年度 芸術（音楽）科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
演奏法	普通科	3年（文系）	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
評価の観点および評価規準			
音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの様子を観察する。</li> <li>・ワークシートに記入した内容で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの様子を観察する。</li> <li>・ワークシートに記入した内容で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏に対する取り組みの様子を観察する。</li> <li>・演奏の聴取（練習、発表、実技試験）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知覚、感受したことを言葉で批評する内容を確認する。</li> <li>・ワークシートに記入した内容で確認する。</li> </ul>

令和3年度 芸術科（演奏法） 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科文系 3年

実施月	題材の 時数	題材名	題材の目標	主な指導内容	学習指導要領				題材の評価規準 と 評価方法				
					表現			鑑賞	音楽を形づくっている要素	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
					歌唱	器楽	創作						
4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	50	表現上の特徴を踏まえた 解釈・演奏法	演奏上の基本を確認し、いろいろな曲に親しみながら、音楽表現の工夫をする。また、その音楽表現に必要な技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の基礎理論を理解する。</li> <li>・姿勢や呼吸法、発声法などに気を付け、曲のこめられた思いを感じ取ったり、楽曲の特徴を感じ取ったりして、イメージをもって演奏する。</li> <li>・多様な表現形態による演奏をする。</li> <li>・曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもって演奏する。</li> </ul>					音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成	<p>①曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心を持ち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p> <p>②曲種に応じた発声、奏法による演奏上の特徴に関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p> <p>③様々な表現形態による歌唱や器楽の特徴に関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音楽表現を工夫し、どのように創造的に表現するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>②音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、曲種に応じた発声、奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>③音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、様々な表現形態による歌唱・器楽の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】</p>	<p>①曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために必要な歌唱や器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</p> <p>②曲種に応じた発声等の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</p> <p>③様々な演奏形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】</p>	
9	10	様々な表現 (鑑賞)	それぞれの音楽の特徴を理解して、それらの文化的・歴史的背景に関心をもって鑑賞し、作品のよさやおもしろさ、価値について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲の背景にあるエピソードや作曲者の思いが作品の音楽構造や曲想にどのように反映しているのかについて理解を深めて鑑賞する。</li> <li>・日本や郷土の音楽を鑑賞することにより、特徴を理解する。</li> </ul>					音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成	<p>①声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>②楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>③我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・発表・ワークシート】</p>		<p>①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>②音楽を形づくっている要素とそれらの働き、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・発表・ワークシート】</p> <p>③音楽を形づくっている要素とそれらの働き、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・発表・ワークシート】</p>	

10 ・ 11 ・ 12	25	作曲家の表現上の特徴を踏まえた解釈・演奏法	作曲家の表現上の特徴・背景を踏まえ、楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して、表現を工夫する。また、その音楽表現に必要な技能を身に付ける。	・曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもって演奏する。 ・多様な表現形態による演奏をする。	アイウエ	アイウエ		音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成	①曲想と楽曲の背景とのかかわりに関心を持ち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】 ②楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】 ③様々な表現形態による器楽の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】	①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】 ②音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】 ③音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、様々な表現形態による器楽の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】	①曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】 ②楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】 ③様々な表現形態による器楽の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】	
1 ・ 2 ・ 3	20	個性豊かな表現	曲を表現する上での特徴・背景を踏まえ、楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して、表現を工夫する。また、その音楽表現に必要な技能を身に付ける。	・ふさわしい音楽表現を明確に掲げ、奏法を工夫して、イメージをもって演奏する。	アイウエ	アイウエ		音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成	①曲想と楽曲の背景とのかかわりに関心を持ち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】 ②楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】 ③様々な表現形態による器楽の特徴に関心を持ち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】	①音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】 ②音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】 ③音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解しながら、様々な表現形態による声楽・器楽の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように創造的に演奏するかについて表現意図をもっている。【観察・発表・ワークシート】	①曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】 ②楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】 ③様々な表現形態による器楽の特徴を生かした音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付け、創造的に表している。【観察・演奏】	

## 令和3年度 芸術（美術）科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
素描・構成	普通科文系	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。		
評価の観点および評価規準			
美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働き独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方をふかめることができるようにする。
評価方法（統合的な評価を含む）			
<b>【関】</b> ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子	<b>【発】</b> ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品	<b>【創】</b> ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品	<b>【鑑】</b> ・ワークシート ・発言内容

「素描・構成」指導と評価の年間計画

学校名 高志高等学校(普通科)

教科名	科目名	対象学年	単位数	教科担当者
美術科	素描・構成	3年	105単位	野村 由香里
教科書(出版社・タイトル)		補助教材等		
なし		なし		

科目の目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。
-------	--

評価の観点の趣旨			
美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働き独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方をふかめることができるようにする。

実施月	題材の回数	対応する学習指導要領の内容と指導事項				題材名	題材の目標	評価規準				評価方法 (統合的な評価を含む)
		A表現			B鑑賞			美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
		(1) 絵画彫刻	(2) デザイン	(3) 映像メディア表現	B鑑賞							
4 5 6 7	50	○			○	素描	対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。 ア デッサン(静物デッサン、建造物デッサン) イ 表現材料(鉛筆、色鉛筆、水彩)	<b>【表】</b> 描画材の表現の広がりや深さなどに関心を持ち、進んでテーマを見つけ、試行錯誤しながら追求している。 <b>【鑑】</b> 造形要素と表現のつながりを理解し深く読み取ろうとしている。 ①造形要素を理解して、明暗や線等の表現を工夫し、構想を練り、描画材の特性を生かす。技法を工夫しようとしている。 ②作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の感じ方や考え方をもちようとしている。	対象を深く観察し、均衡、律動、比例などの美的秩序を確かめ、形体、構成、質感、空間等の造形要素を理解し創造的な表現の構想を練っている。 ①対象物を構成し、自らが感じ取ったことや考えたことから主題を生成している。 ②主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、造形要素を意識して表現の構想を練っている。	描画材の扱いを工夫して自分の意図に合った表現効果を見つけ、創造的に表現している。 ①技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。 ②表現の意図を大切に、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、試行錯誤して主題を迫っている。	様々な素描から意図と表現の工夫、描画材のよさと特徴を感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを広げている。 ①造形要素や技法等の工夫等を読み取り、つくり手の意図と工夫を読み取っている。 ②他者の作品の表現の工夫などを感じ取り、自分の感じ方や考え方を述べるができる。	<b>【関】</b> ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 <b>【発】</b> ・ワークシート ・アイデアスケッチや試行作品 ・完成作品 <b>【創】</b> ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品 <b>【鑑】</b> ・ワークシート ・発言内容

9	10	アイウエ	アイウエ	様々な表現 (鑑賞)	<p>社会の変遷と表現のかかわりから美術史を鑑賞し、現代につながる日本及び諸外国の美術文化の理解を深める。</p> <p>作品を時代背景と表現のかかわりから味わい、現代、未来社会の美術の推移について見方、考え方を広げ、自分の制作に生かそうとしている。</p> <p>①気になる作家の表現をさまざまな角度から調べ、多様な視点で理解を深めようとしている。</p>			<p>関心のある作品の表現を、造形要素から読み解いたり、時代背景から主題生成を想像したりして、理解を深め、自己の考えを述べることができる。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見を述べ合う様子の観察</li> <li>ワークシート</li> <li>グループ活動の様子</li> </ul> <p>【鑑】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発言内容</li> </ul>	
10 11 12	25	アイウエ	アイウエ	平面構成	<p>平面構成の形体、材料、色彩、構成などの造形要素について理解を深め、総合的に扱い、美的秩序を意図した平面の表現能力を高める。</p>	<p>【表】生活の中のグラフィックデザインの多様な表現に関心を持ち、そのよさを支える造形要素を理解し、自分の表現に生かそうとしている。</p> <p>【鑑】生活を豊かにするデザインの色や形の工夫を感じ取り、自分の考えをもとうとしている。</p> <p>①個性豊かに発想し、平面の構成や色彩などの効果を生かした構想を練り表現しようとしている。</p> <p>②作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の感じ方や考え方を持とうとしている。</p>	<p>生活の中の美に関心を持って発想を広げ、リズムやバランス、変化と統一等の造形要素を理解し表現の構想を練っている。</p> <p>①表現形式の特性を理解して選択し、様々な表現の可能性を試行錯誤しながら構想を練っている。</p> <p>②造形の原理や理論を活用し、創造的な表現の構想を練っている。</p>	<p>分割や配置などの工夫により、変化と統一感のある構成を工夫するとともに、色彩の体系及び機能等について理解を深め、美的秩序を意図して表現している。</p> <p>①技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。</p> <p>②色彩の体系や配色の理論を用いて、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、試行錯誤して主題を追及している。</p>	<p>数多くのグラフィックデザイン作品から意図と表現の工夫を感じ取り、作品に対する見方、感じ方、考え方をもち、心豊かにするデザインの働きについて理解を深めている。</p> <p>①造形要素や技法等の工夫等を読み取り、つくり手の意図と工夫を読み取っている。</p> <p>②他者の作品の表現の工夫などを感じ取り、自分の感じ方や考え方を述べることができる。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見を述べ合う様子の観察</li> <li>ワークシート</li> <li>制作の様子</li> </ul> <p>【発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>アイディアスケッチや試行作品</li> <li>完成作品</li> </ul> <p>【創】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作途中の作品や試行作品</li> <li>完成作品</li> </ul> <p>【鑑】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発言内容</li> </ul>
1 2 3	20	アイウエ	アイウエ	立体構成	<p>立体構成の形体、材料、構造、構成などの造形要素について理解を深め、総合的に扱い、美的秩序を意図した立体の表現能力を高める。</p>	<p>【表】生活の中の立体造形に関心を持ち、そのよさを支える造形要素を理解し、自分の表現に生かそうとしている。</p> <p>【鑑】生活を豊かにする立体の形や構造などの工夫を感じ取り、自分の考えをもとうとしている。</p> <p>①個性豊かに発想し、立体の構成や空間、量感などの効果を生かした構想を練り表現しようとしている。</p> <p>②作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の感じ方や考え方を持とうとしている。</p>	<p>生活の中の美に関心を持って発想を広げ、形体、質感、量感、動勢、マッサ等の造形要素を理解して表現の構想を練っている。</p> <p>①材料の特性を理解して選択し、様々な表現の可能性を試行錯誤しながら構想を練っている。</p> <p>②造形の原理や理論を活用し、創造的な表現の構想を練っている。</p>	<p>形体や材料の特性を効果的に生かして、構成や構造を理解し、美的秩序と意図して表現している。</p> <p>①材料の性質や加工方法、道具の扱いを理解し、特性や効果を生かして表現している。</p> <p>②動勢や空間などの造形要素の理解を深めながら、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、試行錯誤して主題を追及している。</p>	<p>建築物やランドスケープ、クラフトデザイン等、幅広い表現から意図と表現の工夫、それぞれの材料のよさと特徴を感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを広げている。</p> <p>①造形要素や技法等の工夫等を読み取り、つくり手の意図と工夫を読み取っている。</p> <p>②他者の作品の表現の工夫などを感じ取り、自分の感じ方や考え方を述べることができる。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見を述べ合う様子の観察</li> <li>ワークシート</li> <li>制作の様子</li> </ul> <p>【発】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>アイディアスケッチや試行作品</li> <li>完成作品</li> </ul> <p>【創】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作途中の作品や試行作品</li> <li>完成作品</li> </ul> <p>【鑑】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>発言内容</li> </ul>

## 令和3年度 芸術（美術）科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
美術探究	普通科文系	3年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。		
評価の観点および評価規準			
美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働き独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わうことができるようにする。
評価方法（統合的な評価を含む）			
<b>【関】</b> ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子	<b>【発】</b> ・ワークシート ・アイデアスケッチや試行作品 ・完成作品	<b>【創】</b> ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品	<b>【鑑】</b> ・ワークシート ・発言内容

「美術探究」指導と評価の年間計画

学校名 高志高等学校

教科名	科目名	対象学年	単位数	教科担当者
美術科	美術探究	3年	105単位	野村 由香里
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等		
なし		なし		

科目の目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。
-------	---

評価の観点の趣旨			
美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。	日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、国際理解に果たす美術の役割や美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方、感じ方を深めるようにする。

実施月	題材の回数	対応する学習指導要領の内容と指導車			題材名	題材の目標	評価規準				評価方法 (統合的な評価を含む)
		A表現 (1) 絵画彫刻 (2) デザイン	(3) 映像メディア表現	B鑑賞			美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
4 5 6 7	36	○	○	○	アイウエ 描いて探る (共通) アウ	対象物を深く見つけ感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題にあった平面の表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表現する。	【表】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めて個性を生かした主題を考え、表現を追求しようとしている。 【鑑】作者の意図を各描画材の扱いの工夫と表現の工夫などから読み取り、自分の考えを深めようとしている。 ①対象や事象から自分の考えを深め、造形要素を応用して独創的な表現を工夫しようとしている。 ②作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の感じ方や考え方を深めようとしている。	対象を深く見つけ感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 ①対象物から自らが感じ取ったことや考えたことを深め主題を生成している。 ②造形の原理や理論を活用し、創造的な表現の構想を深めている。	主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表そうとしている。 ①材料の特性を理解して選択し、特性や効果を生かして様々な表現の可能性を探っている。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、自分の見方感じ方を深めている。 ①造形要素や技法等の工夫等を読み取り、つくり手の意図を表現の工夫から感じ取っている。	【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子 【発】 ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品 【創】 ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品 【鑑】 ・ワークシート ・発言内容

9	12	アイウエ	生活や社会の中の美術の働きや美術文化を考える(共通)	日本および諸外国の美術作品や文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、国際理解に果たす美術の役割や美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深める。	美術文化を生活や技術などの時代背景と表現のかかわりから味わい、現代、未来社会の美術の推移について見方、考え方を広げ、自分の制作に生かそうとしている。 ① 関心のある時代の表現をさまざまな角度から調べ、多様な視点で理解を深めようとしている。			日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから伝統や文化の価値を感じ取り、関心のある作品の表現を、時代の生活、社会情勢、技術の進展等、多様な視点から調べたり、分析したりして、自己の考えを持つことができる。	【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・グループ活動の様子 【鑑】 ・ワークシート ・発言内容
10 11 12	50	アイウエ	デザインで探る(選択)	言葉や対象物を基に表現を構想し、形体、色彩、構成等の造形要素を理解し、描画材の特性を工夫して、主題に迫る。	【表】生活の中のグラフィックデザインの多様な表現に関心を持ち、そのよさを支える造形要素を理解し、自分の表現に生かそうとしている。 【鑑】生活を豊かにするデザインの色や形の工夫を感じ取り、自分の考えをもとうとしている。 ① 平面の構成や色彩などの効果を生かした構想を練り、素材の特性を生かし、用具を使い工夫しようとしている。 ② 作り手の意図に関心を持ち、デザインの働きについて自分の考えをもとうとしている。	生活の中の美に関心を持って発想を広げ、リズムやバランス、変化と統一等の造形要素を理解し表現の構想を練っている。 ① 表現形式の特性を理解して選択し、様々な表現の可能性を試行錯誤しながら構想を練っている。 ② 造形の原理や理論を活用し、創造的な表現の構想を練っている。	主題が伝わるように構図や色彩を工夫し、見通しをもって表現している。 ① 技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。 ② 色彩の体系や配色の理論を用いて、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、試行錯誤して主題を追及している。	目的や機能との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、自分の見方感じ方を深めている。 ① 造形要素や技法等の工夫等を読み取り、伝達について自分の意見を持つことができる。 ② 生活の中のデザインの働きについて理解している。	【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子 【発】 ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品 【創】 ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品 【鑑】 ・ワークシート ・発言内容
10 11 12	50	アイウエ	立体で探る(選択)	対象物を深く見詰め感じ取ったことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題にあった立体の表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表現する。	【表】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めて個性を生かした主題を考え、表現を追求しようとしている。 【鑑】作者の意図を材料の扱いと表現の工夫などから読み取り、自分の考えを深めようとしている。 ① 対象や事象から自分の考えを深め、造形要素を応用して独創的な表現を工夫しようとしている。 ② 作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の感じ方や考え方を深めようとしている。	対象を深く見詰め感じたことや考えたことなどから独創的な主題を生成し、主題に応じた表現の可能性について考え、個性を生かして創造的な表現の構想を練っている。 ① 対象物から自らが感じ取ったことや考えたことを深め主題を生成している。 ② 造形の原理や理論を活用し、創造的な表現の構想を深めている。	主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表そうとしている。 ① 材料の特性を理解して選択し、特性や効果を生かして様々な表現の可能性を探っている。	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張、作品と時代や社会との関わりなどについて考え、自分の見方感じ方を深めている。 ① 造形要素や技法等の工夫等を読み取り、つくり手の意図と工夫を読み取っている。	【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 【発】 ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品 【創】 ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品 【鑑】 ・ワークシート ・発言内容

# 令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
コミュニケーション英語Ⅲ	普通科	3年	4
教科書(出版社・タイトル)		補助教材等	
CROWN English Communication Ⅲ (三省堂)		CROWN English Communication Ⅲ WORKBOOK Advanced (三省堂)	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし、社会生活において活用できるようにする。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

「コミュニケーション英語Ⅲ」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	13	Lesson 1 Life as a Journey	松尾芭蕉の作品における日本の自然美や人生における旅の持つ意味について	ア 日本語と英語で表現される俳句を鑑賞し、その違いを味わう。 イ 旅の厳しさと素晴らしさ、また旅が人生に与える影響について考え、意見を述べる。 ウ 各パラグラフの内容を理解して、話の流れをつかむ。 エ ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①松尾芭蕉や俳句について、自分の知識や経験を積極的に紹介している。 ②旅を通して得られるものについての自分の意見を積極的に伝えようとしている。	①松尾芭蕉の旅の行程を正確に述べるができる。 ②自分の人生を旅にたとえた話を、聞き手に伝わるように語ることができる。	①松尾芭蕉が旅に出た心情、旅の行程、各地で読んだ句に込められた意図を読み取ることができる。 ②旅についての他者の意見を、正しく聞き取ることができる。	①自国の文化を学び、外国語で発信することの意義を理解している。 ②相手の意見に賛成したり反対したりする表現を身につけている。	・AD Task "You have to be poor and make long, hard journeys on foot to find poetic inspiration."	・言語活動の観察 ・発表・作文
5	11	Lesson 2 God's Hands	医師・天野篤が経験した困難や不断の努力について	ア 天野篤医師がこれまでに経験した苦難や努力の体験を読み取る。 イ 医師や医療の在り方についての自分の意見を発表する。 ウ 各パラグラフの内容を理解して、話の流れをつかむ。 エ ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①医師や医療の在り方について考え、自分の意見を積極的に発表している。 ②医師や医療の在り方についての他者の意見を聞いて、賛成や反対の意見を表明している。	①天野医師の失敗の経験、努力の過程を正確に述べるができる。 ②失敗を成功に変えるには何をしなければいけないかについて述べるができる。	①天野医師の経験や天才と称される人の努力の大きさを読み取ることができる。 ②医師や医療の在り方についての他者の意見を正しく聞き取ることができる。	①判断の早さや的確さは経験に裏打ちされることを読み取ることができる。	・AD Task "To be good surgeons, it is not enough just to have good hands and a thorough knowledge of medicine."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
6	14	Lesson 3 Captured by Art	インスタレーションアートがもたらす新しい視点や芸術の役割について	ア 美術館ではなく街中に現れるインスタレーションアートを楽しみ、さらにそのアーティストが目指していることを読み取る。 イ アートの定義、目的、意義について考え、意見を交換する。 ウ 各パラグラフで述べられている事実情報を読み取る。 エ ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①自分の好きなアートや、芸術について思うことを自分のことばで伝えようとしている。 ②芸術の在り方やその受け止め方についての自分の独自の見解を、積極的に発表している。	①それぞれのアーティストの意図を整理し、そこから見出した共通点について、的確に述べることができる。 ②芸術についての自分の意見を正確に伝えようと、説得力のあることばを選んで伝えることができる。	①インスタレーションアートとそのアーティストが目指していること、それを見た人にもたらす効果を適切に読み取ることができる。 ②芸術についての他者の見解を、正しく聞き取ることができる。	①アートの定義について他者の意見も参考にし理解を深めることができる。 ②自分の第一印象について理由を挙げながら説明することができる。	・AD Task "Art does not reside in objects; it resides in the viewer."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文

7	12	Lesson 4 Does Money Make You Mean?	経済状況の違いが人の行動や感情に及ぼす影響について	ア ポール・ピフがおこなった実験の内容と結果の概要や要点を正しく読み取る。 イ 経済状況の違いが人の行動に影響を及ぼすかどうか考え、発表する。 ウ 世界の経済格差の問題の改善策を話し合う。 エ 本文中の事実情報や筆者の主張を理解する。	①経済状態と人間心理についての他者の意見を聞き、それに対する自分の見解を積極的に発表している。	①本文中で行われた実験とその結果の概要や要点を、正確に述べることができる。 ②経済格差を緩和するための対策を考え、話し合うことができる。	①本文中で行われた実験と結果や、筆者の主張・提言を正しく読み取ることができる。 ②経済と人間心理についての他者の見解を、正しく聞き取ることができる	①経済的な倫理観について、時代や文化圏による差異を踏まえつつ、自分の意見を示すことができる。	・AD Task "Wealth has a bad effect on people, making them selfish and less sensitive to others."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
9	11	Lesson 5 The Biggest Event in Human History... Or the Last?	急速に発達を遂げるAI(人工知能)が持つ可能性と危険性について	ア AIの現状を知り、AIがもたらす利点と脅威について考える。 イ AIとの共存のために人がすべきことを考え、提案する。 ウ ディスコースマーカーの使い方に習熟する。	①AI(人工知能)についての知識を話すことができる。 ②人間とAIの関係についての他者の意見を聞き、それに対する自分の見解を積極的に発表している。	①本文で紹介されているAIの事例やAIの利点・問題点について正確に述べるができる。 ②本文に示された未来社会への警鐘について、自分の意見を述べる事が出来る。	①本文中のAIの事例やAIの利点と問題点、およびAIと人間の間を適切に読み取ることができる。 ②人間とAIの関係についての他者の意見を、正しく聞き取ることができる。	①自分の考えを、例を示しつつ英語で説明する。 ②AIの多様性や倫理的観点からの様々な見解を理解することができる。	・AD Task "Since human beings will be able to control it."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
9 10	11	Lesson 6 Only a Camera Lens between Us	DDR(武装解除・動員解除・社会復帰)に携わる瀬谷ルミ子の活動について	ア 瀬谷ルミ子が現在の道に進むきっかけとなった出来事を読み取る。 イ 紛争後の平和構築における行程で必要なこと、大切なことを読み取る。 ウ 単に「助ける」ことが貢献でないことを理解し、社会貢献のあり方について考える。	①平和維持に必要なことや、その仕事に関することについて、自分の考えを話している。 ②ボランティア活動において大切だと思うことを、積極的に他者と共有しようとしている。	①瀬谷さんのHelp という語に対する想いやDDRに携わるまでの経緯を正確に述べる事が出来る。 ②困難な人の状況を想像し自分にできることを述べる事が出来る。	①瀬谷さんが現在の道に進むきっかけや平和構築の行程において大切なことを正しく読み取ることができる。 ②「ボランティア」についての他者の意見を、正しく聞き取ることができる。	①ボランティアについて意見を述べるための表現を身につけている。	・AD Task "When helping people in trouble, it is not enough just to be kind. People must learn to help themselves."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文
10	12	Lesson 7 Being Bilingual	複数言語併用の現実や言語の統制・抑圧の事例から学ぶ自分自身および他者の母語の大切さについて	ア 日本にいと気づきにくい、世界の二言語併用の現実について理解する。 イ 母語をめぐって血が流された歴史を知り、それがアイデンティティーに関わる問題だと理解する。 ウ 日本で英語を公用語にすることや、日本で各言語のサービスを行うことについて、自分の意見を発表する。	①母語と外国語、方言と共通語、公用語などの、言語にまつわる問題について、積極的に考え意見を述べようとしている。 ②言語の多様性について他者と意見を共有しようとしている。	①他国の言語使用の状況、母語をめぐる過去の歴史、母語の日が制定された経緯を明確に説明することができる。 ②言語の多様性、日本で英語を公用語とする事について自分の立場を表明できる。	①世界の二言語併用の現実について、母語をめぐって血が流された歴史と理由について読み取ることができる。 ②言語の多様性を保つことについての他者の意見を聞き取ることができる。	①自分の意見を補強する情報を提供することができる。 ②母語をめぐる問題はアイデンティティーにかかわる問題だと理解する。	・AD Task "It is of great importance to maintain linguistic diversity."	・定期考査 ・言語活動の観察 ・発表・作文



令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語表現 Change the World	普通科	3年（類型 b、c）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材	
なし		プリント	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら、社会の発展と人々の幸福・希望に貢献するための提案を発表する能力を伸ばす。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
様々な視点から自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が読んだり調べたりするうえで考えたことを、論理的にまとめ効果的な方法で相手に伝えることができる。	様々な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解している。	現代社会に関連した用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語表現 Change the World」(3年類型b, c) 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	7	Society Business など	・現代日本におけるレンタルサービスの世界 ・仕事でのスマホ使用がもたらす弊害	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
5	7	Lifestyle Wellness Health など	・コーヒーの効用と飲料水の健康への影響 ・幸福度と長寿の関係 ・寝不足によるビジネスへの悪影響	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
6	7	Language Environment Technology など	・中国の英語標識に見られる誤訳 ・超極細繊維による海洋汚染 ・安全で安価な宇宙旅行	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査

「英語表現 Change the World」(3年類型b, c) 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	7	Society Business など	・寄付して利益を上げる新しいビジネスモデル ・ホームレス支援の方法	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
9	7	Lifestyle Wellness Health など	・記憶を呼び覚ます音楽の力 ・人生を変える片付けの極意 ・海外から見た日本の給食	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
10	7	Language Environment Technology など	・高校生が考案した昼食時のいじめをなくすアプリ ・人口減の日本を支援する人型ロボットの開発 ・体の部位は何でも作れる3Dプリンター	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
11	7	Society Business など	・ネットストアに対抗する十店舗の営業秘策 ・世界の子どもたちへの支援 ・新たなネットビジネス	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査



令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
英語表現 Change the World +	普通科	3年（類型 a）	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材	
なし		プリント	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら、社会の発展と人々の幸福・希望に貢献するための提案を発表する能力を伸ばす。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
様々な視点から自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が読んだり調べたりするうえで考えたことを、論理的にまとめ効果的な方法で相手に伝えることができる。	様々な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解している。	現代社会に関連した用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語表現 Change the World +」(3年類型a) 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	7	Life ～自らの生活を見直し、改善策について提案しよう～	・自国のスーパーフード ・ITと教育 ・食生活	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
5	7	Environment ～環境問題の解決策を提案しよう～	・地球温暖化と気候変動を極地の変化から考える ・海洋開発と自然保護	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
6	7	Technology ～新たな技術や活用方法について提案しよう～	・自動運転技術 ・3Dプリンターの医療利用	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査

「英語表現 Change the World +」(3年類型a) 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	7	Society ～社会の諸事情について考え、改善策、新たな方法を提案しよう～	・貧富の差の改善 ・社内公用語の英語化 ・海外でのボランティア活動	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
9	7	Life ～自らの生活を見直し、改善策について提案しよう～	・食品ゴミ ・水資源の再利用 ・自然災害への対策	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
10	7	Environment ～環境問題の解決策を提案しよう～	・ゴミ処理の有効な方法 ・観光開発と自然保護	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
11	7	Technology ～新たな技術や活用方法について提案しよう～	・ドローンの活用方法 ・バーチャルリアリティ	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容を実生活に関連させ、自分の知識や意見を交えながら、課題や解決方法について発表したり書いたりする。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。 ②単元テーマに関する知識・情報を積極的に得ようとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②単元テーマにおける様々な課題や解決方法について話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査



令和3年度 総合選択（国語科） 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
読解・表現（国語・英語）	普通科文系	3	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		プリント等	

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	話す・聞く能力 書く能力 読む能力	知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉に関心を持ち適切に使ったり、進んで読書しようとしていたりしている。</li> <li>・積極的に自分の意見や考えが表現できる。</li> <li>・分からないことや興味のあることについて進んで調べようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして、筋道を立て、相手に分かりやすく話すことができている。</li> <li>・自分の考えをまとめたり深めたりして筋道を立て、相手や場に応じて適切に文章を書くことができている。</li> <li>・内容を構成や展開に即して的確にとらえ、ものの見方やとらえ方を豊かにしている。</li> <li>・内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声表現、文法、表記、語句、漢字等を理解して、身に付けている。</li> <li>・古典の時代背景や文化等を正確に理解している。</li> </ul>	
評価方法	<p>【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。</p> <p>【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。</p>		

読解・表現（国語・英語） 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（文系）3年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価規準（評価方法）			単元全体で 取り上げる 言語活動／学習活動	備考 （他教科との関係、 学校図書館の活用、 ICTの活用等）
			ア	イ	ウ	エ	オ		関心・意欲・ 態度 （評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 （評価方法）	知識・理解 （評価方法）		
4～5	《現代文》 随筆を読む 《古文》 歌論を読む 《漢文》 詩文を読む	《評論》 「ありがとうもごめんなさいも いらぬ森の民と暮らして人類 学者が考えたこと」 《古文》 「蔵書目録」 《漢文》 「黄生借書説」	◎	○			10	《現代文》 ボルネオ島の狩猟採集民とのフィールド ワークから、豊かさ、自由、幸せと は何かを根本的に問い直す。 《古文》 江戸末期の蔵書家の書いた文章をもと に、和歌を含んだ古文の読解力を養 う。 《漢文》 清朝を代表する文人の書いた文章をも とに、漢文を解釈することの面白さ を感じさせる。	作品のテーマや 論点、作者の感 性や心情を読み 取り、作者のも のの見方・考え 方を理解しよう としている。 （行動の観察）	各作品で話題に なっている論点 やテーマを正確 に読み取り、作 者や登場人物の 主張や心情を理 解している。 （記述の確認・ 定期考査など）	・さまざまなも のの見方、考え 方、感じ方に視 野を広げ、言語 感覚を豊かに し、和歌の鑑賞 に役立ててい る。 ・漢詩の仕組み や押韻について 理解している。 （定期考査な ど）	・（読むこと）各作品を正確に読解し、 話題になっている論点やテーマを読み取 り、作者の詠歌に対する思いを理解す る。 ・（話すこと）短詩形文学における表現 の重要性について考え、様々な表現技法 の効果や意図について話し合う。	
中間考査①													
6～7	《現代文》 評論を読む 《現代文》 対談を読む 《古文》 歌論を読む	《評論》 「科学思想史の哲学」 《対談》 「詩の誕生」 《古文》 「三のしるべ」	○	◎			13	《評論》金森修が、近代科学の成立の 経緯について著した文章を読んで、筆 者の主張を読み取る。 《対談》大岡信と谷川俊太郎の対談を 読み、二人の詩に対する考え方を読み 取る。 《古文》江戸時代後期の国学者の歌論 を読み、和歌を読み解く力を養成す る。	作品のテーマや 論点、作者の感 性や心情を読み 取り、作者のも のの見方・考え 方を理解しよう としている。 （行動の観察）	各作品で話題に なっている論点 やテーマを正確 に読み取り、作 者や登場人物の 主張や心情を理 解している。 （記述の確認・ 定期考査など）	・さまざまなも のの見方、考え 方、感じ方に視 野を広げ、言語 感覚を豊かに し、和歌の鑑賞 に役立ててい る。	・（読むこと）各作品を正確に読解し、 話題になっている論点やテーマを読み取 り、作者の詠歌に対する思いを理解す る。 ・（話すこと）短詩形文学における表現 の重要性について考え、様々な表現技法 の効果や意図について話し合う。	
中間考査②													
8～9	《現代文》 評論を読む 《古文》 俳文を読む 《漢文》 思想を読む	《評論》 「科学と非科学のはざままで」 《古文》 「俳諧世説」 《漢文》 「明夷待訪録」	◎	○			12	《評論》中屋敷均の書いた文章をもと に、秩序と無秩序の間で生まれる生命 現象、科学の営為、人間の営みについ ての筆者の主張を読み取る。 《古文》江戸時代の俳人、高桑蘭更の 文章を読み、エピソードの内容を読み 取りながら、筆者の俳諧に対する見方 を学ぶ。 《漢文》明代末の思想家で、「中国の ルソー」と呼ばれた黄宗義の文章を読 み、筆者の主張を読み取りながら、民 本主義について学ぶ。	作品のテーマや 論点、作者の感 性や心情を読み 取り、作者のも のの見方・考え 方を理解しよう としている。 （行動の観察）	各作品で話題に なっている論点 やテーマを正確 に読み取り、作 者や登場人物の 主張や心情を理 解している。 （記述の確認・ 定期考査など）	・さまざまなも のの見方、考え 方、感じ方に視 野を広げ、言語 感覚を豊かに し、和歌の鑑賞 に役立ててい る。	・（読むこと）各作品を正確に読解し、 話題になっている論点やテーマを読み取 り、作者の詠歌に対する思いを理解す る。 ・（話すこと）短詩形文学における表現 の重要性について考え、様々な表現技法 の効果や意図について話し合う。	
期末考査													
4単位 140時間の場合の例							35						

令和3年度 総合選択（英語科） 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科	対象学年	単位数
読解・表現（国語・英語）	普通科文系	3年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材	
なし		プリント	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、世界の諸事情に関する事実情報や意見・考えなどを理解し様々な観点から考察することを通して、社会の発展と人類の幸福を目指して自らの考えを深め発信する能力を伸ばす。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
英文で扱われている内容に対し、問題意識をもって様々な視点から考察し、自分なりの考えを主体的に発信しようとしている。	英文を読んで考えたことを、論理的かつ効果的に伝える英文を書くことができる。	様々な話題についての高度な英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解することができる。	扱う英文のテーマに関連した用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「読解・表現(国語・英語)」(3年文系類型a)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	1	歴史	歴史上の出来事と現代への遺産について	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを整理し伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容とその背景等を深く理解し、論理的かつ効果的に英語の文章にまとめる。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。	①単元テーマにおける様々な課題や新たな考えについて話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
5	2	経済	現代の経済と社会問題について	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを整理し伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容とその背景等を深く理解し、論理的かつ効果的に英語の文章にまとめる。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。	①単元テーマにおける様々な課題や新たな考えについて話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
6	2	環境	環境問題とその原因や2次的影響について	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを整理し伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容とその背景等を深く理解し、論理的かつ効果的に英語の文章にまとめる。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。	①単元テーマにおける様々な課題や新たな考えについて話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査

7	2	文化	世界の文化とその背景、異文化の共存について	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを整理し伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容とその背景等を深く理解し、論理的かつ効果的に英語の文章にまとめる。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。	①単元テーマにおける様々な課題や新たな考えについて話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
9	2	医学	最新の医学進歩とそれに関わる諸問題について	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを整理し伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容とその背景等を深く理解し、論理的かつ効果的に英語の文章にまとめる。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。	①単元テーマにおける様々な課題や新たな考えについて話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査
10	2	暮らし	言語や教育、生活に関する問題について	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを整理し伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容とその背景等を深く理解し、論理的かつ効果的に英語の文章にまとめる。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。	①単元テーマにおける様々な課題や新たな考えについて話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物
11	2	エネルギー	現代のエネルギー問題と取組について	ア 言語活動に積極的に参加し、自分の考えを整理し伝えようとする。 イ 英文で読んだ内容とその背景等を深く理解し、論理的かつ効果的に英語の文章にまとめる。 ウ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①言語活動に積極的に参加し、英文の感想や自分の考えなどを、口頭や文章で伝えようとしている。	①単元テーマにおける様々な課題や新たな考えについて話したり書いたりすることができる。	①未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら、テキストの概要や要点をとらえることができる。	①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②単元テーマに関する背景知識をもっている。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・言語活動の成果物 ・定期考査



# 令和3年度 サイエンスフロンティア 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	科目名	対象学年	単位数
K o A - S ・ III	普通科（高入生）	3年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	①前年度の研究結果を踏まえて、研究テーマ・コアテーマの再検討を行い的確な研究計画を立て、グループ内やグループ間で協力して課題研究に取り組む。 ②課題研究を通して、調査研究やデータ処理、分析・まとめ・発表・議論など課題解決に必要な能力を習得する。 ③継続して取り組んだ課題研究を通して、科学的探究能力、問題解決能力を向上する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い問題に関心を持ち、自身の研究テーマと関連づけて、探究を深めることができる。</li> <li>・積極的に質問や議論を行い、相互に理解を深め研究の質を向上させることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・観察・実験等を通して、事象を客観的に捉え、分析的・総合的に考察して、根拠を示して論理的に表現できる。</li> <li>・他の研究を正確に理解し、自らの意見や質問を論理的に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、改善を重ねて科学的に探究することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの調査研究や他のグループからの指摘などを理解し、適切に活用して研究を深化させることができる。</li> </ul>

「K o A - S ・ III」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年

福井県立高志高等学校・普通科・3年

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4月	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画の確認。</li> <li>・研究の現状と課題の確認。</li> <li>・研究計画の確認</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループのテーマとコアテーマを理解し、建設的な議論を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画と各自・各班の課題を把握し、適切に方針を立て、具体的に計画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題や現状を的確に把握・分析し、具体的かつ現実的な実験計画に反映している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自がグループの目標や研究手法、課題等について正確に理解している。</li> </ul>	実験計画書
4月～7月	課題研究・発表準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に、適切に計画管理しながら実験・観察・調査を行う。</li> <li>・分科会、ポスター、全体会各発表形式にあわせた発表準備を行う。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら研究課題に意欲的に取り組むとともに、進捗の全体を共有しつつ適切に役割分担し、協力して取り組んでいる。</li> <li>・自分たちの研究成果を聴衆や論文の読み手に、的確に届けることに関心を持ち意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果を論理的・科学的に考察している。</li> <li>・適切に相互理解をして議論を進めることができる。</li> <li>・相手にわかりやすく伝わるよう情報機器を活用したり資料を工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精度や再現性に配慮して、適切に実験・測定を行っている。</li> <li>・考察や議論、論文作成などに必要な情報を、適正かつ的確に収集・記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果の分析や議論に必要な知識を主体的に求め、身に付けている。</li> </ul>	中間報告会
7月	研究活動発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の発表（中間発表）を聞いた生徒に、その後の進展と結論がよく伝わるよう留意する。</li> <li>・論文作成や、今後の発表会等に向けて有益な情報交換ができるよう留意する。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの研究成果を伝えることに主体的、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・議論から次の研究課題を得ることを意識して取り組んでいる。</li> <li>・他の発表を意欲的に聞き、積極的に議論して相互に理解を深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手やその反応に応じて、的確に伝えることができるよう考えて発表している。</li> <li>・情報機器や資料などを効果的に活用して表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表を正しく理解し、適切な質問や議論ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表内容を正しく理解し、自分の言葉で伝えることができる。</li> <li>・他の発表を正しく理解し、疑問点等を整理することができる。</li> </ul>	発表資料 要旨原稿
7月～9月	論文作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の発表会等で得た指摘等に対応して研究を深め、2年次からの研究全体を適切にまとめる。</li> <li>・形式、内容とも整った論文に仕上げる。</li> <li>・特に、参考文献、引用文献、追試可能な情報の記載などに留意する。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体を的確に把握・整理して意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の目的、方法、結果、考察、成果、意義などを論理的にまとめている。</li> <li>・図版、グラフ、写真などを適切に活用しわかりやすい表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な形式・内容を満たした上で、読みやすく、わかりやすくまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究内容を正しく理解し、自分の言葉で伝えることができる。</li> <li>・論理的でわかりやすい論文とするために、記述すべきことや表現の基本を理解している。</li> </ul>	研究レポート
9月～11月	学びの報告書・設計書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の探究活動を振り返る。</li> <li>・3年間の探究活動をふまえて、大学等における学びの展望を考察する。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会において幅広く豊かな感性が育てられている。</li> <li>・表現活動を通して、考えを的確に表現し議論し理解する意欲や態度が育てられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における様々な課題について調べ議論した成果をいかして、考えを的確に表現し議論し理解し合う能力が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について科学的に考察し、協同して課題解決を図ってきたことを振り返る技能が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成する活動を通して、課題解決を図る能力が育てられている。</li> </ul>	学びの報告書 学びの設計書
12月～	探究の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表・討論・小論文等、各自で課題を設定して演習に取り組むことで、探究活動で身につけた力を深化する。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、関心・意欲・態度が育てられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、思考・判断・表現する力が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、観察・実験の技能が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、知識・理解する力が高まっている。</li> </ul>	各自の課題 行動観察

## 令和3年度 サイエンスフロンティア 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	科目名	対象学年	単位数
K o A - R ・ III	普通科（内進生）	3年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	①前年度の研究結果を踏まえて、研究テーマ・コアテーマの再検討を行的確な研究計画を立て、グループ内やグループ間で協力して課題研究に取り組む。 ②課題研究を通して、調査研究やデータ処理、分析・まとめ・発表・議論など課題解決に必要な能力を習得する。 ③継続して取り組んだ課題研究を通して、科学的探究能力、問題解決能力を向上する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い問題に関心を持ち、自身の研究テーマと関連づけて、探究を深めることができる。</li> <li>・積極的に質問や議論を行い、相互に理解を深め研究の質を向上させることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・観察・実験等を通して、事象を客観的に捉え、分析的・総合的に考察して、根拠を示して論理的に表現できる。</li> <li>・他の研究を正確に理解し、自らの意見や質問を論理的に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、改善を重ねて科学的に探究することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの調査研究や他のグループからの指摘などを理解し、適切に活用して研究を深化させることができる。</li> </ul>

「K o A - R ・ III」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年

福井県立高志高等学校・普通科・3年

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4月	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画の確認。</li> <li>・研究の現状と課題の確認。</li> <li>・研究計画の確認</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループのテーマとコアテーマを理解し、建設的な議論を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画と各自・各班の課題を把握し、適切に方針を立て、具体的に計画している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究課題や現状を的確に把握・分析し、具体的かつ現実的な実験計画に反映している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自がグループの目標や研究手法、課題等について正確に理解している。</li> </ul>	実験計画書
4月～7月	課題研究・発表準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に、適切に計画管理しながら実験・観察・調査を行う。</li> <li>・分科会、ポスター、全体会各発表形式にあわせた発表準備を行う。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら研究課題に意欲的に取り組むとともに、進捗の全体を共有しつつ適切に役割分担し、協力して取り組んでいる。</li> <li>・自分たちの研究成果を聴衆や論文の読み手に、的確に届けることに関心を持ち意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果を論理的・科学的に考察している。</li> <li>・適切に相互理解をして議論を進めることができる。</li> <li>・相手にわかりやすく伝わるよう情報機器を活用したり資料を工夫したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精度や再現性に配慮して、適切に実験・測定を行っている。</li> <li>・考察や議論、論文作成などに必要な情報を、適正かつ的確に収集・記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果の分析や議論に必要な知識を主体的に求め、身に付けている。</li> </ul>	中間報告会
7月	研究活動発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次の発表（中間発表）を聞いた生徒に、その後の進展と結論がよく伝わるよう留意する。</li> <li>・論文作成や、今後の発表会等に向けて有益な情報交換ができるよう留意する。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの研究成果を伝えることに主体的、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・議論から次の研究課題を得ることを意識して取り組んでいる。</li> <li>・他の発表を意欲的に聞き、積極的に議論して相互に理解を深めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手やその反応に応じて、的確に伝えることができるよう考えて発表している。</li> <li>・情報機器や資料などを効果的に活用して表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表を正しく理解し、適切な質問や議論ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表内容を正しく理解し、自分の言葉で伝えることができる。</li> <li>・他の発表を正しく理解し、疑問点等を整理することができる。</li> </ul>	発表資料 要旨原稿
7月～9月	論文作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の発表会等で得た指摘等に対応して研究を深め、2年次からの研究全体を適切にまとめる。</li> <li>・形式、内容とも整った論文に仕上げる。</li> <li>・特に、参照文献、引用文献、追試可能な情報の記載などに留意する。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体を的確に把握・整理して意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の目的、方法、結果、考察、成果、意義などを論理的にまとめている。</li> <li>・図版、グラフ、写真などを適切に活用しわかりやすい表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な形式・内容を満たした上で、読みやすく、わかりやすくまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究内容を正しく理解し、自分の言葉で伝えることができる。</li> <li>・論理的でわかりやすい論文とするために、記述すべきことや表現の基本を理解している。</li> </ul>	研究レポート
9月～11月	学びの報告書・設計書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の探究活動を振り返る。</li> <li>・3年間の探究活動をふまえて、大学等における学びの展望を考察する。</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会において幅広く豊かな感性が育てられている。</li> <li>・表現活動を通して、考えを的確に表現し議論し理解する意欲や態度が育てられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における様々な課題について調べ議論した成果をいかして、考えを的確に表現し議論し理解し合う能力が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について科学的に考察し、協同して課題解決を図ってきたことを振り返る技能が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成する活動を通して、課題解決を図る能力が育てられている。</li> </ul>	学びの報告書 学びの設計書
12月～	探究の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表・討論・小論文等、各自で課題を設定して演習に取り組むことで、探究活動で身につけた力を深化する。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、関心・意欲・態度が育てられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、思考・判断・表現する力が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、観察・実験の技能が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの報告書・設計書をふまえて、知識・理解する力が高まっている。</li> </ul>	各自の課題 行動観察